



\* 0036388000 \*

1

0036388-000

特 2 2 7 - 7 6

最新就職読本

青柳邦彦・著

山陽社

昭和 1 0

AGF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法  
第 6 7 条の規定に基づき、平成 1 2 年 3 月 2 日付  
けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。

355

1234

最新

就職讀本

山陽社發行

特227

76

序

最近、失業問題が、世界の懸案となつて、頓みに急調を呈すると共に、之れに適應する所謂「職業指導運動」も愈々眞剣となり、益々深刻熱烈さを加へ來つた事は洵に欣ばしい次第である。

本會の使命も亦時代の要求に従つて其の一端を負荷するにあるが、これが研究は科學を基調とし、其の指導は實際を根底とするもので、科學と實際の綜合智識を常識化し、信念化させる點が他者と趣きを異にする。

本書は初心者の爲めに急遽編纂したもので、充分其の目的を達成されなかつたが、如述の理由からして、從來の誤れる智見を解晰し、以つて能く就職の實際に適應せしめ、究極の優勝を所期する點に万全を期してゐる。



山 陽 社

### 序文に代へて

平和—戦争—景氣—不景氣—其の何れの時代をも問はない、「我れ等如何にして生きるか」の問題は、人類社會の急激な進化と共に、益々以つて重大化されてゆく。

爰に提示された「就職の問題」——それは限定された人間の需要に對して、毎年社會に送り出される人間が、無制限に増加してゆくこと、つまり需要に對する供給の過剩や、社會制度の缺陷、教育制度の悪弊、國民常識の缺如等々色々な理由から、一定の職業を見出して獨立する事も人に仕へる事も、共に容易ならぬものとなつたからである。

従つて「我れ等に職業を與へよ!!」と云ふ叫び聲が、如何に天を焦す焰の如く、全社會を蔽ひ、深刻に熱烈に眞剣に叫ばれやうとも、以上の如き根本的の解決がつかない限り、到底此の問題の解決は容易でないのである。

けれども最早そんな事を言つてゐる時代ではない、とも角も諸君一人の就職を如何にして

獲得するか、これが一瞬時もゆるがせに出来ない喫緊の急務となつてゐる。

其處で此の急迫した現世相に鑑み、爰に「職業指導運動」と言つたものが、到る處に捲き起されて來たのであるが、まだ一實際的に普及されないのである。

尤も最近に學術試験よりも、メンタル・テストが必要であると言ふが如く、稍々科學的方面へ顯著な動向を示してゐるが、ともすると日本固有の、一方的研究に脱して了ふ爲め、如何にしても實際的の奏效を示さない。

例へば職業指導書の如きも、或る一、二のものを除けば、多くは一方的のものである。之れは概ね分析的傾向に偏したものであるから、微を穿ち細を究め、其の研究の精致を競ふ點に於いては、異常な努力が認められるが、それが爲めに、総合的な大智識の貢献が、殆ど閑却されてゐるから、究極して範圍が狭少で空虚となる。

固より分析的研究の緊要なる事は議論の餘地はないが、これは研究上の方便であつて、就職と言ふ事を社會的に見る、或は哲學的に研究をする、或は教育的に研討する、更に自己の體験に據つて語るものもあらう、又道德的に意識させる倫理的に意識させる、實際的に意識させる

等々種々様々に分けられるが、斯く一方面のみに僻してこれが綜合化を忘るゝ時は、其の智見は甚だ狹隘なものとなり、單に一局部に囚はれて十二分の効果を發揮し得ないのである。

其處で本書は學俗同化、科學を基調として常識化させ、實際を根底として信念化させ、社會の變化と個人の變化が、可及的に符節する様に努力したもので、初心者に對しては多少専門的に脱した點もあるが、凡ては理論に非ずして實際、複雑化に非ずして簡易化、非凡に非ずして平凡、必ず實際に役立つ事を本旨とするものである、然しそれは諸君自らが咀嚼し、血となし肉となす努力に俟つ事は勿論であるから、以上の主意を汲まれ、之れは決して難解なものではないと云ふ前提意識を以て、能く熟讀玩味されん事を切望して止まない。

根岸の寓居にて

青柳邦彦

目次

前編 就職の準備と心得 ..... 一

第一章 就職の目的 ..... 一

第二章 就職と世相 ..... 八

第三章 就職の基調 ..... 一四

    第一節 自己中心よりも社會を中心に ..... 一四

    第二節 自己の認識を誤るな ..... 三三

    第三節 理想と實際を辨別せよ ..... 三七

第四章 就職の新分野 ..... 三三

    第一は就職の關心——暗示は實際教育——廣義な實業教育——實業と實業教育

— 實業の正しい解釋 — 就職と實業の關係 — 實業の能力と精神 — 實業の  
新要求 — 帝都の實業界 — 活例數題 — 視野を擴大せよ — 就職難は雲散夢  
消 — 新分野は斯して拓く

## 第五章 就職と新學問

誤つた既往の教育 — 就職の一方便が是 — 効果なきものを追ひ廻すな — 學  
問と就職の關係 — 學問は狭少なもの — 活動性と融通性 — 機械化と人間化  
— 理論化と實際化 — 馬鹿に使はれる惻巧 — 人類生活の定則 — 世は廻り  
持ち — 活例數題 — 新しい教育の要求 — 快適な新歩道

## 第六章 就職の準備と心得

### 第一節 就職の當りと豫想

就職の準備期間 — 試験準備と就職準備 — 就職の當りとは何か — 自己の實力と家  
庭の事情 — 當りのつけ方 — 研究すべき就職方程式 — 豫想とは何か — 豫想のつ

け方 — 禁物な數々の注意 — 選擇は斯くして爲せ — 適確な斷定推測 — 精査考究  
は他人がよし

### 第二節 就職先に對する豫備知識

豫備知識とは何か — 専門的と職業的 — 觀點は先方に — 求人先の實際を知る法 —  
— 求人者の共通性 — 物的要求と心的要求 — 活例數題 — 技能と性能 — 容易なも  
のと至難なもの — 新しい要求は是れ — 此の方法に據れば萬點

### 第三節 就職運動の第一階程

普遍的な活例から — 履歴書の作製 — 作り方の心得數々 — 就職運動の依頼法 —  
直接的と間接的 — 紹介を依頼する法 — 依頼の際の注意 — 自力でなす運動 — 職  
業紹介所の利用法 — 新聞案内欄の利用法 — 以上最初の心得

### 第四節 自力を認識させる運動

在學中が最もよし — 社會の信用測定 — 文信と訪問 — 機會は斯して作る — 活例  
數題 — 賢者と愚者の動き — 就職の優先權 — 就職戦線の實相 — 紹介狀の必要性



——人物の裏書と商品の宣傳——處世哲學にも通用

四

### 第五節 就職常識の涵養法

學問以外の學問——學校では教へられぬ——就職常識の基調——数々の必要性——活  
例數題——職業部門に應じて——大よりは小へ——就職常識の養ひ方

三五

### 第六節 就職上の特別心得

小事に對する關心——堅實——忍耐——勤儉————緻密——活例數題——日常  
生活から職業へ——實務の資格養成——筆蹟——珠算——作文——活例數題

三六

## 第七章 就職の技術と必勝法〔一〕

三六

### 第一節 就職に術法ありや否や

三七

手品の種と極意皆傳——社會常識以上に出ぬ——凡ては自力が基調——社會の要求に  
從へ——運命と努力——正しき認識の上に——購着や奸手段ではない

### 第二節 就職運動の種類と方法

三八

人を通ずる就職運動——紹介狀に據る就職運動——自身が直接する就職運動——募集

廣告に據る就職運動——その他——實例數題

### 第三節 重視すべき希望條件

三九

實務教育の希望——健康體の希望——技能と性能の希望——體験的の希望——勤務上  
の希望——指導養成の希望——通勤住込みの希望——履歷書——身元保證人——保證  
金——以上に對する各心得

## 第八章 就職の技術と必勝法〔二〕

三九

### 緒論 就職直前と就職直面の違ひ

四〇

### 第一節 就職と時間の觀念

四一

時は金なり就職なり——人を通ずる場合——紹介狀に據る場合——直接運動に據る場  
合——募集廣告に據る場合——試験に據る場合——時間の必要性は時と場合で相違す  
る——實例數題

### 第二節 就職と風采の觀念

四二

身分と年輩——最初の印象——和装と洋装——舊タイプと新タイプ——帽子と履物——

五

—上流と下層—適切な現代タイプ—斯した心がけが大切

六

### 第三節 就職と態度の觀念

就職のキャスティング—最初の挨拶—傲慢不遜と優柔不斷—自然と技巧—尊敬と親睦—對談中の禁物條項—聽き方と答へ方—別辭の述べ方

### 第四節 就職と言語の觀念

態度と併行して—訛りと方言—簡潔と明快—就職と言語の特別關係—周到な用意に緻密な思慮—馬鹿叮嚀と放漫野卑—理智と情操—識見と性格—含蓄と餘情—メンタル・テストの基調—貴重な十分間

### 第五節 就職と所信の觀念

試験の大詰め—決心と用意の活用—チャンスの作り方—所信の發表方法—就職者の餘力と英斷—轉爲禍福の動因—ラストヘビー—斯して榮冠圈内に

### 第六節 就職と禮儀作法の觀念

支關先の心得—應接間の心得—別辭の心得—就職上の禮儀と作法—場合々々

の言辭と動作—正義と信念—眞實と熱意—自然的の落付き—尊敬と親愛—優雅と温情—純眞と輕快—元氣と澀潤—周到と緻密—凡ては常識のコクテール—萬事は此のコツで

## 前編附録 メンタル・テストの正體

八三

### (1) 發生までの經過

適正な人物—二種の口頭試験—テストの進化—テストの必要性—能力は常に不定—一時時の失策—當てにならぬ準備—發明家の捕へた妙機

### (2) 眞正なる解釋

理論的なテスト—實際的のテスト—裁判官の誤—赤裸々な人間の種々相

### (3) 種類と應用法

精神考査—心理考査—性能考査—感情考査—器能考査—其の他

### (4) 部門的の責任叙述

採用考査カード—設備考査カード—身體検査との關係—健康診断との關係—學

七

術試験との関係——口頭試験との関係——實地試験との関係——其他の関係一切

(5) テストの實例.....

定則——異變——突發——偶然——轉機——妙機——重要な言語と態度——失敗の實例  
——成功の實例

### 後編 就職の實際手引..... 一〇六

#### 第一章 通勤に據る就職..... 一〇六

- (1) 通信事務員..... 仕事の性質——就職の方法——勤務と收入..... 一〇八
- (2) 郵便局の事務員..... 同..... 一〇九
- (3) 鐵道局の雇員..... 同..... 一一〇
- (4) 少年車掌..... 同..... 一一一
- (5) 少年製圖手..... 同..... 一一三
- (6) 銀行事務員..... 同..... 一一三

- (7) 會社事務員..... 同..... 一二五
- (8) 卸小賣の商店員..... 同..... 一二六
- (9) 少年圖書館員..... 同..... 一二七
- (10) 少年速記者..... 同..... 一二八
- (11) 少年簿記計算士..... 同..... 一二九
- (12) 新聞雜誌の見習記者..... 同..... 一三〇
- (13) 百貨店の小店員..... 同..... 一三三

#### 第二章 住込に據る就職..... 一三四

- (1) 小賣店の中小店員..... 仕事の性質——就職の方法——勤務と收入..... 一三五
- (2) 卸問屋の中小店員..... 同..... 一三六
- (3) 製造所の住込職員..... 同..... 一三八
- (4) 辯護士其他の書生..... 同..... 一三九
- (5) 藥局其他の藥劑師助手..... 同..... 一四〇

**第三章 勞力に據る就職**

(6)	理髮師の見習助手……………同	上……………一三二
(7)	町工場の種類徒弟……………同	上……………一三三
(8)	洋食司廚士の見習……………同	上……………一三四
(9)	飲食店の板場見習……………同	上……………一三五
(10)	住込の各種事務員……………同	上……………一三七
(11)	圖案工の見習助手……………同	上……………一三九
(12)	看板工の見習徒弟……………同	上……………一四〇
(13)	派出の事務と労働……………同	上……………一四二
………		
(1)	陸海軍廠の少年工員……………仕事の性質——就職の方法——勤務と收入……………一四三	上……………一四三
(2)	印刷局の見習工員……………同	上……………一四四
(3)	化粧品工場職工手傳……………同	上……………一四六
	製菓會社の職工手傳……………同	上……………一四七

(5)	印刷所の職工見習……………同	上……………一四八
(6)	製本所の見習徒弟……………同	上……………一五一
(7)	造幣局の工員見習……………同	上……………一五三
(8)	鐵道工場職工手傳……………同	上……………一五三
(9)	紡績工場の見習工……………同	上……………一五四
(10)	製藥會社の職場員……………同	上……………一五五
(11)	電氣工場職員見習……………同	上……………一五六
(12)	メリヤス工場職工手傳……………同	上……………一五七
(13)	セルロイド工場見習職工……………同	上……………一五八
(14)	飛行機製作工場職工見習……………同	上……………一五九
(15)	飲食品製造工場職員手傳……………同	上……………一六一
(16)	人夫土工其他の純労働……………同	上……………一六二
(17)	苦學生の住込労働……………同	上……………一六四

後編附録 實業界の代表的採用方針と待遇法

(1)	三井系の採用方針と待遇	一五七
(2)	三菱系の採用方針と待遇	一六八
(3)	安田系の採用方針と待遇	一六九
(4)	住友系の採用方針と待遇	一七〇
(5)	古河系の採用方針と待遇	一七一
(6)	海運界の採用方針と待遇	一七二
(7)	保険界の採用方針と待遇	一七三
(8)	銀行界の採用方針と待遇	一七五
(9)	知名會社の採用方針と待遇	一七六
(10)	百貨店の採用方針と待遇	一七八

目次 終り

青柳邦彦著

前編 就職の準備と心得

第一章 就職の目的

學校より社會へ——諸君の輝かしい人生の前途に臨み、筆者は今何人にも譲らぬ、祝の餞けを諸君に呈上する光榮を荷つてゐる。

諸君に限りない希望があれば、筆者には又限りない責任がある。成功するか失敗するか、それはスタートを切る前の決心と準備の如何にかゝる。

職業戦線に於ける勝敗の決、諸君が就職の成否は、此の虎の巻を如何に活用するか否かにかゝつてゐる事は言ふまでもない。

凡そ新聞を読む人にも、一面から二面、そして三面と順を追ふ人と、三面から二面、二面から一面と逆に読む人と、自分の最も待望してゐた面から始める人とがある。

これは其の人の實力を基調とし、自身にとつての必要性を痛感するものから、漸次他面へ押し擴げてゆく事にもとられ、スピード時代に處する賢明な經濟機能となるから、此の場合に於ては何れが好い何れが悪いとは斷言されない。

けれどもこれは相當智能や體験の基礎を固めた人にして、始めて善處されるもので、そうでない人には、とかく一知半解、即ち一を知つて二を知らぬ事の危険を誘發する。

例へば或る一つの事柄に對しても、局部的に知つてゐる人、斷片的に知つてゐる人、又總體的に知つてゐる人とが出来る。

然し完全圓滿を所期する爲めには、やはり根本を極め總體的に於て、これを常識化し、信念化する必要があり、就中白紙を以て臨まうとする場合には、如何にしても事物の順を追ふ事が

最も大切であり得策である。

従つて諸君は前説等は何うでもいゝ、結論だと言つた風に先きを急いではならぬ。

本書如何に貧弱とは言へ筆者は誠心と熱意を以て諸君を指導激勵し、何處までも諸君の利益と幸福の爲めに、前人の企及し得なかつた獨創的の新戦術？も、爰に始めて公開するのであるから、先づ前編を通讀してから後編に移る事にして戴き度いのである。

凡そ万事をなすには、先づ其の目的を明かにせねばならぬ、大海を船出した者も其目的地點が明かでなかつたら、其の船は何處に行くか當てもないものとなり、遂には燃料盡きて、中途に於て航行の自由を失つて了ふであらうから、何よりも此の目的地點を、決定する事が大切である。

然らば爰に言ふ就職の目的は何か、其の誤りなき説明は、やはり科學に據らねばならぬ。

近頃よく社會とか人生とか言ふ言葉が盛んに使はれてゐるが、就職は人類生活、社會生活とは密接不離の關係にあるものであるから、之れは立派に科學の一部門をなしてゐる。

今努めて専門的な事を除け、最も平易簡單に述べると、人生の發生は過去少くとも二十五萬

年以前から、五十万年以前に遡ると言ふのが、最も權威ある人類學者の説く處であり、其の進化に就てもダーウキンその他に據つて色々と解かれてゐるが、要する處生物の凡ては、自然法則の作用によつて生長と衰亡を免れないのであるが、更に今一つ生物有機體と言ふ法則があつて、諸勢力の一定した因果關係の相互作用、即ち不斷に變化する、運動の聯結並に繼續に據つて種子の繁殖を計るものである。

従つて下は最下級のアミーバから、上は最高等な吾々人間に至るまで、生命の流れは縷々絲の如く連續して決して断えなない。

其處に生物としての生活が始まる、それは個々の本能の上に現はれ、生活の様式に現はて來る、本能とは臭覺、視覺、聽覺、味覺、觸覺等々であり、生活の様式とは獨棲的と社會的と共産的の三つに分れ、更に特殊のものとして合體的と群居的の二つに分けられるが、高等動物としての人間は、諸君の熟知してゐるが如く社會的である、故に人間を稱して社會的の動物とも言つてゐる。

此の社會的能力を決定するものは、智能とか感情とか器能とか言ふ機能が、他の凡ての動物

よりも優れてゐる事で説明される。

人類が斯うした社會性に富んでゐる爲めに、直接的には精力や勞力を減ずると共に常に種族の安寧と幸福を確保せん事に努め、間接的には智能や機能の發達を助勢して、共存共榮の使命を果さん事に努める。

然るが故に人間は誰から命じられざるも自らの智能や器能を磨いて、其處に己れに適した職業を選び擧げ、これに據つて社會に貢獻する事を知つてゐる、就職の目的と言ふのは此の人類の自覺以上には斷じてない、然るに世人の多くは只單に生れた者は生きねばならぬ、生きる爲めには喰はねばならぬから、やむを得ず就職するのであると言ふが如くに解したり、或は人口が年々増殖してゆく、一ケ年七十万も八十万も殖えてゆく、然るに日本の領土には限りがあり、食物にも不足を生じて來る、即ち人口の過剩と生活問題、これが就職を餘儀なくするのでこれなくば就職等の心配はしないのだと言ふ様に考へてゐる人もあるが、何れも大きな誤りで、吾人はこれを稱して一知半解の危険と言ふ。

言ふまでもなく人口の増加は、人類の生活に大なる激變を來さしめて居り、從來耳にする事

の出来なかつた、驚くべき失業時代を現出してゐる事は事實である。

六

けれども就職が困難になつて来たと言ふ事と、就職が餘儀ないものとなつて来たと言ふ事の解釋は全然性質の異なるものである。

以上の如くであるから、就職と言ふ事は、過去に於いて必要とされ、現在に於いて必要であり、將來に於いて一層必要となる。

然も人間が益々増殖し、益々失業者が續出し、益々就職が困難となればなる程、人類の文化は益々進展するのであつて、諸君が靜かに正確に科學的の動向と經濟的の推移を洞察すれば、筆者の見解の妥當なるを首肯されるであらうが、今一つの例を擧げて一層これを正密に諸君の腦裡に銘刻せねばならぬ。

即ち此處に百万長者の息子あり、此の息子は何の職にも就かず、又就く必要もない一生一代遊んで暮せる人である、斯うした人であつたら、就職等の必要はないではないか、既往には斯うした人は澤山あつた、現在でも恐らく斯うした人が、何パーセントかあるに違ひないと言ふ想像をした事と假定する。

これは諸君！人間として果して最高の名譽を保留したものと考へられるであらうか、尤も社會科學を解し得ない人ならば、或は然りと言ふかも知れぬが、筆者に言はしむれば睡生夢死の生活、動物にも劣つた生活であると言ふ。

然し斯うした上流階級の人があり、一見職業に對して無自覺であり、無目的に見ゆる人でも審かに觀察すれば、何等かの生活標準を持つて、社會に對する自己の存在を肯定してゐるに違ひない、其の人は名譽職を帯びるとか資財を提供するとか必ず社會への責任觀はある筈であり、又例ひ非合理的或は本能的のものにもせよ、必ず自己の存在を肯定する事が出来なければ人間と言ふものは生きられるものでない、白痴低能ならいざ知らず、苟くも人間としての完全な肉體と精神あれば、確に自己の存在を肯定する事に努めるものであり、もしも之れを反對に否定せんとする場合は地位、名門、學識、財産の如何に拘らず、其の人は精神的に破滅を來して自殺をする、斯うした人は既往にもあり、又現在にもある。

然しそれは前述の如き科學を研究してゆくと少しも不思議はないのである。

更に動物的本能の要素に多く支配され、人生の目的を適確に意識されないと云ふ人でも最近

七



心理學の闡明するやうに、本能を以て知能の本源と見做す限りは、如何にそれが幼稚な状態にあつても、とにかく人間は、社會の或る種の目的に向つて進化しつゝある事は、彼の犯罪者の累犯實相を見ても、亦多くの犯人が死刑を忌避して生に執着を持つてゐると言ふ事に徴しても一點疑ひを容れる餘地がないのである。

以上に據つて就職の目的は、吾々人類に附與された天の使命、人類の負荷すべき當然の義務を果さんとする、人類自らの自覺自奮である事を首肯されるであらう。

## 第二章 就職と世相

世運の進歩と人文の發達に據り、社會の組織機構も變つて來るから、職業そのものも亦複雑多岐のものとなるが、然しものと／＼人智の進歩發達に比例するものであるから、これは就職の容易と至難の問題に關係はない。

又經濟界の深刻なる不況が反映すると就職は一層困難となり、經濟界がこれと反對に、非常

な好況を齎すと、就職が一轉して容易になると言ふ事も、一つの理由とはなるが然し絶對的のものではない、それは社會を一方的に見たに過ぎないもので、これも社會科學の見地から究極すれば、人口の加増と土地の問題が最大の原因となるから、人口の増加すると言ふ事が、何かの一大變革の動機によつて停止されない限り、就職難の問題は永遠に解決されない。

然し産兒制限の如き人的の作爲を以て、人類の繁殖を阻止する事は、常に人道ばかりに限らず、前章に述べた人類生存の尊き使命に悖るものであるから、斯の如き事は簡單に取扱はるべき性質のものでない。

即ち景氣のよい國や金のある國に、就職難のないものとしたら、亞米利加とか佛蘭西には失業者がない理由であるが、事實は全く想像を裏切り、世界一の黄金國たる亞米利加が現に世界一の失業國となつて居り、佛蘭西や英吉利がこれに亞ぐのが、何よりも確かな證據である。

この最尤な理由の一つを挙げると、機械科學が發達し、物質文明のテンポが早くなると自然科學を追ひ越し精神文化を追ひ越して、人間よりも物體の價値を高めて了ふ、それは百人の人力を必要としたものが、たゞ一つの機械で足りるからである。

とも角も人口が加増されても、自給自足を何處までも可能ならしむれば失業問題は起らないが、限りある領土、限りある物資故に自給自足が困難になる、これを補足する爲めに科學が發達するのであるが、これがまた一方に人間を不要なものとするから、就職と言ふ事は獨り、日本に限らず世界何れの國でも頭を悩ませねばならぬものになつて来る。

扱て爰で一寸奇異に感じられる事は、科學の進歩に據つて人間の價値が低落して來ると言ふならば、上層階級の人には比較的失業が少い筈だが、これがまた下層よりも上層が、より以上困難になつて來てゐる。

これは時代の推移と現世相を語るもので、究極すると人物の過剰である。

つまり端的に言ふと十人の學者の智囊が傾けられて一つの科學が生み出された、然るに此の科學に據つて百人、千人の勞働者が不要になると共に、此の部門の學者は結局一人で澤山で、残る九人は不要と言つた様に、やはり上にも下にも失業者は出來て來る。

抑も日本では明治の初期から中期にかけては、維新大改革の後を受けて、社會萬般の制度の上に、一大更新を要する時期に際會してゐたから、苟くも學問あり材幹あるものは、官吏と

なつて政府に直屬する事が一番便利であり、且つ成功の早途と考へられた。

即ち男子生れて青雲の志を達しやうとするには、是非共一度は廟堂に立つて自らの抱負を顯現しなければならぬと言ふ氣風が旺であり、子供時代から高位高官の人の寫眞を飾つたり、其の人の風貌や聲該に接する事を非常な誇りとし、人世の登龍門は官途を措いて他に無いもの位に信じてゐた時代もあつた。

而も當時の時勢は國としても、學問ある材幹を欲してゐた時代であつた反面に於いて、最高教育を受けた青年は極めて尠かつたので、斯うした大きな憧れも比較的容易に達成された、之れは獨り政界や官界に限らず、實業界、教育界、宗教界と、凡ゆる方面に人物が拂底してゐたからである、然るに今日は猫も杓子も大學に入られる時代になつて、毎年掃き溜められる位の學士が製造されてゆき、而もそれが逐年的に遞増してゆくから、如何に官省、銀行、會社、大商店が、文化の進展に隨伴した新な施設をなし、新な事業を起したからと言ふて、到底之れ等の凡てに職を與へる事は出來ない。

爰に文部省、統計局、社會局等の統計數字を示して解説する時は、一層其の間の消息が明か

にされるが、本書はそうした専門的研究が使命でないから省略してあるが、手近な一例を挙げると、大正十二年當時は大學出の八割近くも就職を可能としたが、漸次其の率を低減し、現在では四割も就職は困難で、同じ大學でも其の種類によつては、二割漸くと言つたものがある、即ち大學卒業生の六割から八割と言ふ大部分のものが、惜しむべき年月と學費を投じて勉強した揚句、無職不必要者として社會に放り出されてゐるのである。

其處でかうした上級學校の就職難問題を、根本的に解決するには、今日に於ける學校萬能教育の弊害を、根本的に改革するの外はない。それは今日の社會は夫々の専門學者に據つてのみ左右されるものでなく、夫々の實際的の職業家に據つてより多く社會の機能を發揮するからである、従つて同一軌道に立つ専門學者ばかり多くなり、其の實際仕事に當るものが少くなると言ふ事は、機能を發揮する處か寧ろ機能を阻止する事になる。

のみならず學問と實際は、各々異つた作用を持つてゐるから、假りにこれ等の學問ある人を實際方面に轉用するとしても、此の場合に臨む學問は、殆ど無能力に近いものとなる。

即ち教育家たるべく學問を積んで來た人に外交をさせたり商取引の折衝をさせたのでは、一

向に能率があがらない、又判檢事や辯護士たらんとして學問をして來た人に、終日黙々として會計帳簿や算盤珠と首ツ引させたのでは、これ又さつぱり能率が擧がらない。筆者は敢てこれ等の人の爲めに筆を執つてゐるのでないから、爰に多くを語らぬが諸君にしても、やはり以上専門の學者と同様、社會そのもの、要求と自身の要求がピッタリしないと、實際の職業場裡では無能力者に近いものとなる、これは後に詳記するが、とも角も社會は、個人の集團に據つて構成してゐるとは言へながらも、個人々々の要求に満足と與へるやうには出來て居ない、當方が青を望んでゐても、先方は綠を望み紫を望んでゐると言つたやうに異つてゐる。

故に教育の改革に據つて、就職を幾分にも容易にしやうと言ふには、從來の如く目を大所高所に置く事を廢めて、一切を現實に基調を措き、これが變化の動向を察知して、充分社會の要求に應じ得られる様な教育をしなければならぬ、それは言ふまでもなく社會教育であり職業教育である。

中學を出なくとも大學に學ぶ處がなくとも、此の社會教育の薰化を得、職業教育の教練を得て居れば、期せずして自己の正しく強く進む道が教へられてゐるから、自身が既にして社會の

要求に應じ得られる資格を有し、自信を抱ける事になり、此の場合に於ける就職は最も容易なものとなるのである。

一四

即ち社會教育と言ひ職業教育と言ふのは、自己の實質特徴を査定し研練し、而して更に社會の實質に同様の研究を及ぼし、自己と社會を離るゝ事の出来ない處に持つてゆく事で、其處に始めて就職は容易なものとなるのである。

### 第三章 就職の基調

#### 第一節 自己中心よりも社會を中心に

扱て自身に適切した職業を選び、これに従事せんとするには如何にしたらよいか、即ち就職の基調を何處に措くかと言ふ問題であるが、從來此の問題に對しては、大部分の職業指導書は千變一律の回答を與へてゐる。

即ち好きこそ物の上手なれとか、適材適所であるから自身が好きであり、得意とするものであればよいと言つた様に、一切を自己に中心を措いてゐる事である。

従つて斯種職業指導家の、最も權威あるものと稱されてゐるものでも、尙且つ自己の欲する職業に對しては、其の貫徹の難易を問はず、直往邁進すべき事を教へてゐる。

然し筆者に言はしむるならば、之れは何人も望む理想の一つであり、目的貫徹の手段でもあるが、現在より將來に向つては、篤と考慮せねばならぬ問題であると思ふ。

これを簡單に言ふと時勢と言ふものは刻々に變つてゆくのであるから、昨は是なりとした事でも、今は非となる場合もあるかも知れないからである。

凡そ萬物流轉の原則なるものは、人類生活の全般に通ずる最も嚴肅なる哲理であり、社會生活の凡ての働きを進化發展させる力強い動因である、これは古今東西を通じ、社會現象の一切に共通する眞理であつて、これなくしては今日の進境を見、明日の社會を建設する事は出来ない、然らば其の變化に適應する事が何よりも大切であり、其の變化に適應されない時には世の落伍者となるのも理の當然でなければならぬ。

其處で問題は自己を中心として職業を選ぶか、それとも社會を中心として職業を選ぶかと言ふ點に歸着する。

尤もこれとても人に據つては色々異論もあらうし、又苟くも新な事象には新な利益も生れる代りに、新な弊害も伴ふものであるから、極端に一方を取ると言ふ事は出來ないにしても、現實の問題としては、自己よりも社會と言つたのが、最近著しく既往と變つて來た職業戦線上の新傾向である。

其の理由とする處は、社會は言ふまでもなく個人の集團であり、個人が社會構成の主體となつてゐるが、翻へつて個人其のものゝ進歩と分けて考へると、大變な懸隔を生じて來る。即ち個人が如何なる理想を抱くとも、如何様なる努力を盡すとも、所詮は個人の力である。

其の見る處、其の聞く處、其の感ずる處、これ悉く個人の研究と體驗に踰踏する。

然るに社會と言ふ集團は、凡ゆる個人の全智と全能が傾倒されて、全面的に進歩發展してゐるのであるから、其の變化の急テンポは、遙かに個人のそれを超えて先へ進んでゐる。

従つて諸君が一の職業を選定するに當つて自己を中心となし、自己の好む處、自己の得意な

處を以て平押しに進まんとしても、社會がこれを容れない事には、遂に其の目的を達成する事が出來ないのである。

今卑近な一例を擧げるならば、最近トーキー（發聲映畫）が發達して來た處が、説明者の優秀なるものが眞先きに失業者とならざるを得なくなつた、これ等も個人の進歩よりも社會の進歩がより早くより強い事を語つてゐる、斯うした例は際限なく擧げ得られるが、もつと大きな總體的な方面から職業上の變革を少しく述べて、諸君の根本智識としなければならぬ、即ち國家國政の樞機に參劃する大臣、往時の青少年が憧れの的となつたもの、これ等も昔は大學を出て官途に就き官界を巧みに遊泳して來た人の上に落ちて來たものであるが、これとても現在では職業的色彩が益々濃厚となり、外務大臣は外交官から、商工大臣は實業家から、司法大臣は司法官からと言ふ具合に、學識あるもの、資力あるもの、共に其の方面に多くの直接的職業關係を結んでゐるものが、優先的特權を握る様になり、官立大學を出て官途に就き最も順調な足どりで進んだ者でも、當今では局課長が積の山、知事、大臣と言ふ様な事は全く一場の夢に過ぎないものとなり、やはり職業的に於いて社會的に一頭地を抜かねばならぬやう

になつて来た、又大東京の變化に就いて言ふと、之れまでは政治教育が中心で、文化の淵源地として遺憾なく其の面目を發揮したのであるが、今日では大東京港と言ふ、日本一の港に轉向して、國際貿易都市の面目を發揮しなければならぬ事になり、又一方では地域、人口の擴大と共に、經濟的事情に急變を來し、日本一の商工都市とならざるを得なくなつた。

此の大東京、大都市等も専門的に研究すると、頗る複雑多岐なものとなり、同時に諸君の職業研究に色々新しい事實を教へるのであるが、本書の領分以外になるから只其の一例を擧げて参考に資するにとりめて置く。

大東京が政治教育中心地から、更に商工中心地への今急速な歩みを續けてゐると言ふ一事だけでも、諸君は必ず異とするであらうと思ふが、此處に其の事實の一つを掲げて立證するとならば、現在の大東京(新市域隣接五郡八十二ヶ町村を含む)に於ける全人口の七割五分が商工業であり、其の職業分野に於ては化學工業、雜種工業、修繕加工業では、既にして大阪をリードし、日本一となつて了つたのである。

又機械器具工業、飲食物工業、瓦斯金屬精鍊工業が第二位、染織工業が第三位で、此處數年

を出でずして過半の商工業は第一位となり得る可能性が充分なのであるから、假りに十の工業中六なり七なりまで首位を占めると當然日本第一の商工都市となる。

従つて官界よりも商工業に於てより多くの人を望んでゐる事になる。諸君ボンヤリしてゐる間に社會とか國家と言ふものはこんなにも變つてゐる。

我々は自分の好きや嫌ひで、職業を選擇してゐたのではとんでもない事になる。

況んや自分はこれが非常な得意だから等と言つてゐても、同様にそれを得意とする人が他に何千何万とあれば、社會に對する職業の過剩となり人物の過剩となるから、やつぱり失業は免れないのである。即ち現在では小中學生の失業よりも、大學出の失業者がより多い理由の存する處である。

賢明なる諸君はこれだけでも既に就職の基調は何處に措いてよいか、必ずや其の據るべき處を發見されたと思ふが、多少専門的に亘る難解の點もあつたと思はれるから、次にもつと平易な一例を擧げる。

これは内務省中央職業紹介事務局囑託の谷口政秀氏と言ふ有名な職業研究家が、多くの蟲類

によつて研究された所説の一端であるが「夜電燈に迷ふて飛び込んだ蛾が、一日中硝子戸に頭を打ちつけて光明を求めたが、とう／＼目的を達せず死んでしまつた」と言ふのである、即ち現今の世人が職業を求めてゐる状態は、恰度此の昆虫の様に視野が狭く餘り廣くもない硝子戸（勿論智能に乏しいもの小さいものには廣いかも知れぬ）の一隅に頭を打ちつけて、遂に死んで了ふと同じだと言ふのであるが、洵に穿つた言葉であり敬服される同氏の創見である。つまり現代は斯様に視野が狭くてはいけない、何處までも自己を中心にして好きだ嫌ひだと言つて職選みをする時代ではない。

先づ以て社會の動きを考へ、社會の特に要求してゐる方面に目を轉じ、其處に自分が適應する様に努力しなければならぬ時代となつてゐるのである。

従つて最小限度の生活を確立した上で、餘技として自分の好きな事もやる。

それが幸にして何れか一方が社會に認められるやうになれば、其の人自身も望外の欣びであり、社會も亦それに據つて二重の利益を擧げる事になる、現代では却つてそうした人がより多く成功のチャンスを握つてゐる。

あの人は職工が本職なんだが、今脚本家としてめき／＼賣り出してゐるとか、あの人の本業は俳優だが、その趣味として研究してゐる人形造りは、専門業を驚歎させるものだとか言つた具合のものもあると思へば、あの人は立派な辯護士なんだが、依然賣れもしない原稿を書いてビイ／＼してゐる、あの人は高文までパスしながらまだ職がなくて、廣告等の外交をやつてゐると言つた實際に照らす時、思ひ半に達するものがあらう。

即ち諸君は就職の基調を何處に措いたらいか筆者は再び言ふのである、時間と資力と健康の許された人、平たく言ふと順調に高等教育を受けられ格段に就職を急がぬ人は例外であるが小學校を終つた程度で就職しなければならぬ人、中學校を終つたのみで就職しなければならぬ人は、決してどれこれの職選みをしてはいけない、最小限度の生活保證さへあるならば旨んじて之れに就けと言ひ度い。

社會は盲目ではない、何れの職業に就いても、それ相當の生活は必ず保證して呉れるものであり、眞に諸君に天稟の閃きがあり、或は其の報酬以上の實力が存するならば、社會は決して無意識の裡に、諸君の一生を葬り去るものではないからである。

## 第二節 自己の認識を誤るな

處で爰にもう一つ説明を加へて措かねばならぬ事は、小學、中學よりも大學と言つた上層に  
より失業者の多いと言ふ理由は分つた。

然し乍ら近頃では此の小學、中學すらも、就職は容易でなくなつた、これは如何なる事由に  
據るかと言ふ問題である。

小學教育（六ヶ年）これは諸君も御承知の如く、兵役の義務、納税の義務と共に教育の義務  
と言つて、日本では國民の三大義務となつてゐるもので、國民として資格づけられる最小限度  
の責務である。

明治以來大正まで小學校を出た丈で就職すると言ふ人は極少數で、小學校丈で社會に出  
て小僧とか店員とか給仕とかなつて生活の費を稼がねばならぬと言ふのは、家庭の極めて貧し  
いものであつて、例ひ一日も早く實社會に臨まねばならぬと言ふ様な人でも、甲種の商業學校  
同農業學校、同商船學校、同工業學校と言つた、職業教育を加味した上層學校へ進む事を次の

目的とした、これは文部省の中等専門學校規定に準據し、其の部門の知識技能を授け、兼ねて  
徳性の涵養をなす事を目的としたものである。

又中學校は同様文部省の中等學校令に準據して、高等普通教育を授け、併せて國民道徳の養  
成に力むる事を目的とするもので、前記中等専門學校と相似通つてゐるが、前者は専門的中等  
の職業教育、後者は一般的中等の基礎教育を施す點に相違があり、前者は卒業後直ちに就職す  
る事に眞の目的を持つてゐるに反し、後者は更に高等學校とか大學豫科専門學校と言つた具合  
に、より上級の學校に進む事を目的としてゐたものである。従つて嚴正な意味で言ふと小學校  
を出た丈で就職する、中學校を出た丈で就職すると言ふ事自體が變態であり奇型である、  
それは言ふまでもなく小學も中學も、五十歩百歩の國民的一般基礎教育だけに盡され、何等實  
際的の職業教育が施されてゐないのであるから、従つて失禮な申分ではあるが、小學や中學丈  
では、實際の處未だ社會へ一本立ちで、打つて出ると言ふ資格がないわけである。

それが今日では小學や中學丈で、ドン／＼社會へ出なければならなくなつた、と言ふ事に  
就いては、二つの見方がある、其の一つは社會經濟の變化からであり、他の一つは個人經濟の



變化からである。

先づ社會は世運の發展進歩につれて、漸次商工的に企業化せねばならなくなつた。

従來の農業、林業、漁業、鑛業等と言つた自然方面の物資だけでは、需要供給が圓滑にゆかないから、科學の力を藉りて工業を旺にし、自然で足りない處を人為で補はねばならなくなつたから工業が勢ひ旺となり、之に伴つて此の新たな生産品を急速且つ適確に消化させる商業が旺になつて来る。

従つて前章に大東京の經濟的變化で一寸述べてあるが、國家社會の全體から見ても商工業が最も必要となつて來た。

此の商工方面の要求は、一般的な初等教育者であり、殊に研究的の方面は極少數のもので足り、大部分は實際的の経験者に多くの期待がかかる、學問は、最少限度でも構はぬ實際的にこれを教練されてゐる人であればよいと言ふ事から、小中學出の如き人を、早くから實際方面に養成してゆかうと言ふ傾向が生れて來たのである。

一方個人經濟からすると、社會經濟の急變から同じく個人經濟も逼迫して來る。

従來は一人の戸主が五人も十人も家族を扶養し得たが、生活程度が高まつて來ると、収入と支出は一致しなくなるから、餘程の資産家でない限りは其の子供達の凡てに高等教育を施す事も出来なければ、學校處か喰べさせてゆく事さへも出来なくなるから、一日も早く家族の各自に働いて貰はねばならなくなる、一人でも多く働いてくれて安閑と座食するものがなくなれば、それだけ其の家の暮しは樂になる。

斯うした理由から小中學で就職させやうとするものが非常な勢ひで殖えて來る一方社會もこれを望む處から可及的にこれを消化してゐるのであるが、爰に此の小中學生の新しい需要供給に異常な脅威を齎してゐるのは、職業婦人の擡頭である、爰で言ふ職業婦人は職業教育を受けたとか職業的の實際教練を重ねたとか言ふ獨立獨歩の職業婦人に限らず、全般的に於いて女子の職業進出と廣義に解釋して貰ふ。

此の女子群の進出は非常な脅威となつて、男子の職業領域を漸次縮少させてゐると言ふのは従來の永い慣習では、婦人には性來の天職があるから、女は就職しなくてもいゝものと解されてゐた、處が今度はそれが全く正反對になつたからである。

其の天職とは産兒に育児に家政であつて、これ以外の職業を特に求める必要はなかつた。只結婚前の女子であつて家庭の貧困なものが、所謂嫁入り前の仕度にも言つて、僅かに給仕とか事務員をする位のもので、男子と共に永続的に職業戦線に立つ等の事はなかつたが、これも社會經濟の急變と思想の轉向から新しい傾向を生むに到つた。

經濟的の急變は前に述べた處と變りはないが、女子の思想轉向と言ふのは、新しき人道の上に見覺めた自由と平等の思想で從來の如く女子が家庭に跼蹐されて、男子の奴隸同様に措かれたのは、經濟的の働きのないからだ、自分達も職を得て自活すれば、何時までも男子に頭を押へられる必要はないと言つた考へから、今度は貧困者どころか、寧ろ有産有識階級の婦女子がより多くより強く職を求むるに到つた爲めに、爰に諸君の職業が著しく縮められるに到つた殊にその攻勢力は驚くべきもので、通勤の職業、住込の職業、勞力の職業、特殊の職業、獨立の職業何でも來い、決して男子にはヒケをとらず、報酬は男子以上に勉強する事も、實際に明かにされてゐるし、諸君の立場から最も適當とされ容易とされた部門が、より強烈に女子群の鋭鋒に粉碎されつゝあるからである。爰に於いて諸君の立場は今や頗る不利なるものである事

を首肯されるであらうが、これを要約すると諸君はほんの一般教育丈で、何等實際的の職業教育が施されてゐない事、諸君が進まうとする處には、恐るべき女子群が控えてゐる事、従つて此の場合に臨む、諸君の職選み即ち好きこのみは、決して賢明なものでない事が諒知されるであらうと思ふ。

### 第三節 理想と實際を辨別せよ

然し斯く説き來つたからと言ふて、決して筆者は諸君の將來に確立さるべき、一定の職業の上に乗までこの説を強調するものでない。

此の確定的職業に就いては、順を追ふて後章更に説くべきものであるが、彼是混同して其の歸趣を誤る如き事があつてはならぬから、爰にこれを少しく説明して置く。  
即ち、自身の個性、才能、體質、環境等に頓着なく、又職業の内容、其の職業の發展性、從業條件其他を顧慮する處なく、何でも構はず漫然と職業に就け等と言ふ事は、餘程の非常識家ならざる限りは言ひたものでない。

けれどもこれは或る程度の職業教育なり、或は實際教育を受けた人が、既にして自己の天職なるものを自覚し、後來如何なる事あるも此の職業は變更しないと云ふ、確信の持てた時に於てのみ有意義なものとなる。

又もう一つ之れと同様に考へられるものは、最近頃に擡頭して來た職業指導家なるもの、理想から説く場合である。

然しこれは要するに理想であつて實際とは餘程隔絶してゐる、それは今再び此處に縷説するまでもなく、曩に筆者は個人の要求と社會の要求の容易に符節し難いものである事を述べて來てゐるから、それに據つて熟慮再考されたい。

處で此の職業指導家勿論筆者も其の一人ではあるが、其の自他共に理想としてゐる點を擧ぐると斯うした理由となる。

これは従來の商工徒弟現在の小中學丈で社會へ望む人達の、出發點に多くの懸念を持つた事に始まる、即ち今日の社會が科學の進歩、文化の向上に従つて、職業そのものも益々複雑化してゐる時に、如何に小中學丈で職を求めると言つて、學問も大して要らない、職業も

そんなに深く考へる事はないとは勿論言はれない。

否々出來得る事ならば學問もより多かるべく、職業もより深く研究されたものでなければならぬ、世の中が斯く組織的になつて來た以上は、就職も亦組織的に計畫されねばならぬ事は理の當然とする處である。

もしも自身の健康體質、精神智能、業務の適不適性、職能の進歩性等を考へずに、只漫然と就職したならば、必ず其の職業は一時的のものに終り結局は破滅する、それは一個人の生活を破壊し益々生活を不安に導く動因となるは勿論、國家の經濟にも破滅の因を造り、産業率は益々低下して來る事は、餘りにも見透ひた話である。

であるからこうした商工の徒弟に對しては、都市に於いて特殊な産業教育職業教育を施す必要があると言ふ理論から、歐米各國に先づ此の少青年の職業指導運動が起つた、米國では一九〇一年に初めてボストン市の民政廳内に職業相談事業が創始されて以來長足の進歩を遂げ紐育、ピッツバーグ・グラントラピッズ、デトロイト其他の都市に組織の整備、機關の完備されたものが實現されるに到つた、又英國にあつては一九一〇年に兒童の職業選擇に就いて適當な機關

を設立すべき法律の發布を見、殊に大戰以來此の方面の努力に目覺しきものがある。

我が國に於ても最近漸く識者の注目する處となり、一般職業紹介事業の外に、少年専門の職業相談所が設立されるに到つたが、何を言ふにも創設後日尙淺く、其の業績も未だに見るべきもの少く、適性考査に於ても三、四の機械に依る形式的なメンタル、テストを施して、想像力、注意力、臨機應變の機智と言つた、抽象的な一般智能の考査を試みる位のものであり、又其の職業紹介に就ても單に求人申込みを待つて、之れを仲介するに過ぎない様な状態で、何等積極的指導の成果を擧げてゐない、これ等の事は大自治體の大都市とか、内務省社會局、文部省等が夫々専門研究家の研究案に俟つて、社會政策其他の見地から施設すべきもので、此の理想の實現されるのも遠い事ではなからうが、現實が需要よりも供給が多いから斯うした理想を養へてゐたのでは、諸君が折角の就職機會も失はれるので、これは研究問題として後章の各部門に於て詳説する積りでゐたものである。

諸君!! 筆者は諸君の成功を心から祈るものなるが故に一切を忌憚なく言ふ。

敢て教育の高低を論じない、例へ専門の職業教育を受けたとしても、實際の職業場裡では、

やはり完成されたものでない。

況んや職業の教育もなく、職業の體驗もないものとするれば、それは人間としても未成品である、此の未成品時代には斷じて贅澤を言つてはならぬ、例ひ小中學を首席で通さうともこれを以て自らの天稟を冒瀆する等と考へてはいけない、従つて出發點は何でもいゝ。

先づ學問であるがこれ等も決して向來の運命を左右するものでない。

獨逸の産んだ大哲人ヘーゲルは、其の青年時代までは極めて平凡な學徒に過ぎなかつたものと端的に言ふと劣等生の部類に屬してゐた人で、卒業論文の如きも何回となくドロツプしたものであるが、後にはカント以後の大哲學を大成し、大哲學者としての天稟を恣にしたのである、又歐洲の曠野を我がものゝ如く蹂躪し、われに不可能の文字なしと喝破した英傑ナポレオンは、其の席次が四十二番を漸く保持したもので、當時の卒業生としては取る處なき一凡庸に過ぎなかつたのである。

職業に於ても其の通り會社の給仕から東京市長になつた後藤新平伯、同じく總理大臣になつた齋藤實子、豆腐屋の小僧から遞信大臣になつた野田卯一郎氏、煙草職工から鐘紡社長になつ

た武藤山治氏、労働者から友愛會々長労働運動の先驅者となつた鈴木文治氏、店員から東洋一の時計王となつた服部金太郎氏等古今東西の立志傳中に上る人の、最初の出發點と其の経路を辿る時、諸君は其處に成る程と肯かれる處がある事と思ふ、これも後章に述べんとするのであるが、物質的の進歩は社會科學に據るが、精神的の進歩は自然科學に據るものである、科學は如何に進歩したからと言つて完全な人間までは作れない様に、如何に職業教育を完成したからと言つて、人物そのものまでも完成する事は出来ない、人の成功不成功は又此の二つの力がほどよく結合されねば、結局機械化された人間に過ぎないものとなる。

諸君が今小中學の學窓より社會へ一步を踏み入れる事は、言はゞ職業的實際教育に進むと同様のものであるから、其の最初の起點が何れにあらうとも、自覺せる人間精神の存する限りは決してこれを以て諸君を機械化させる動因をなすものとは考へられない、故に將來の一定職業の場合の事までも爰に述べる必要はないのである、諸君がとも角も社會の實際空氣を一度吸つてから、徐ろに後來を考へたからとて決して遅くはないのである。

#### 第四章 就職の新分野

輓近就職に對して、世の識者が異常な關心を持つて來ると共に、社會教育とか實際教育とかの言葉を、旺に使用するやうになつたが、之れは實業教育と言つた方が適切かも知れない。

吾が國に於て實業とか實業家と言ふと、何か大規模な資本主義の商工業の、みを指してゐる様に解釋してゐるが、これは實業教育の徹底しない證據で大變な見當違ひである。

彼の米國の自動車王ヘンリーフォード氏は「實業とは仕事のことである」と言ひ、又英國の大政治家サースベリ卿は「政治は實業なり」と言つて居るが、此の實業の二字を各國の譯語に照らし、仔細に検討すれば、凡て一般の生活は勿論の事、苟くも物資を産み出さうと言ふ、凡ての仕事は悉く實業と云ふ事になる。

其の成功と否とは、何れも此の實業の精神に左右される事が知悉されるのである。

例へば之れまで實業家と請けとれなかつた、政治家、教育家、宗教家、醫師、辯護士、美術

家、文士、技術家、その他、仔細に考察すれば何れも大なり小なり、實業的能力と其の精神の支配を受けてゐる事を發見するのである。

米國鋼鐵會社々長イーエツチゲリー氏は「人世に於ける如何なる仕事も實業也實業に對する各人の成功は、人類生存の上に根本的必要基礎を與へてゐる」と言ふ、意味の事を述べてゐるが如く、歐米に於いては實業の言葉は、非常に廣義に解釋されてゐると共に、其の精神の如きは特に重きを措かれてゐる、故に日本に於いては昔武士に二言なしと言つて、武士の正直な精神を言ひ現はしてゐるが、歐米では假りに先方を疑ふやうな事でもあれば「自分は實業家である」と強く言ひ放つて、其の無禮を咎めると言ふのは、實業の精神を發露したものであるが、就職を志すものは又以て此の精神を持つ事が大切である。

即ち實業は實際の業である、虚業に對して眞面目に働く者の仕事の總稱である。而も此の實業には一種の強い勤勉、努力、堅忍、等と言ふ、最も眞面目な精神が伴つてゐるから、今日から自分は實業家になるのだと言ふ嚴肅な考へを持つて戴き度い。

之れは至極平凡な様な事柄ではあるが、人間はとかく其の精神生活に深い根柢を有するものである、他より見て非常に窮迫した様にとられても、精神生活に此の發刺たる信念があれば、その人は常に泰然として將來の光明を認め、逆境に満足して自己が運命の開拓と、天稟の發揮に努める事が出来る。

以上の如く實業なる言葉に對してすら、從來は至極狭い解釋を下してゐたから、此の方面には一般的の事務家、教育家、技術家、美術家、文藝家等は、直接關係のないものに思はれて來たが、今日では斯る想像は全く裏切られ、斯うした方面により以上にそうした部門の職業家が要望されてゐる事を發見するに到つた。

其の實例の一つを挙げると、帝都のデパート三越、白木屋、松坂屋、高島屋、松屋等の商店、第一、第十五、川崎第百、安田、住友の如き銀行、東京郊外、東武、京濱、京王、東京地下鐵の如き私設電鐵會社、可及的に建築陣容を競ふ信託、保險、倉庫等の會社では、何れも申合せた様に營繕課と言ふものを設置し、其處では土木建築の専門技術家とか美術家を常備して、プラン、デザインは勿論、實施設計まで自前でやつて居り、又企劃部、宣傳部等では文藝家、特に文案家、圖案家、畫家等の如きを常備して、同様自前の宣傳に努めてゐる等は、其の生きた

實例である。

故に實業を廣義に解釋するは固よりの事、少しく職業に對して視野を廣めると、思ひがけない天地が展開されてゆくから、今日の就職難は必ずしも悲觀すべきものと言はれない。

もし悲觀する者あれば、其の人の視野が餘りに狭いからだとも言はれる。

何故に然るかと問はるゝならば、今日に於ける就職難と言ふことは、社會全體を通じての凡ゆる職業に對しての就職難でなく、就職希望者自身が、餘りにも分野を局限してゐるからで、其の責任の一つは就職者自身が負ふべきものとなる、従つて自ら局限した就職目標の範圍をもつと切り擴げ、商工から實業へ、更に理想を言ふならば都會から地方へ、そうして内地より殖民地へ、いや日本より外國へと言ふ様に視野を擴める事が出来れば、滔々たる現在の就職難も或る程度までは雲散霧消して仕舞ふ理由となる。曩に筆者が何處でもより好みをせず、勇敢に當つて見よ、と教へてゐるのも亦以上の如き見解も含まれるからである。

## 第五章 就職と新學問

此の問題は既に前章の各部門に亘つて、斷片的ながらも解き盡されてゐるから、爰に多くは論じないが、國家社會の中から眞の天才が選出され、其の人が學問そのものに據つて、國家社會に盡すと言ふのであれば問題は無い。

けれども實際に於ては、學資のつくもの丈けが學問し、學資のないものは學問し度くも出來ないのであり、又日本に於ける學問は、デนมアルクの如く、本當の學問の爲めに學問そのものを樂しむでもなく、結局はやつぱり就職の一方便として、學問をしてゐるに過ぎないから、學問をしてゐる人は、言はゞ實際上に何等の效果もないものを、追ひ廻してゐる様なものである、尤も諸君は小中學丈けを以て雄々しくも職業の戦線に踏み出したのであるから、其の點に於ては右の如き杞憂を持つ必要がないかも知れないが、中には依然として自分は學問がないからと言つた歎聲を放ち、折角の勇猛進を挫く人がないでもないから一言するのである。

これは社會が學問と實際を完全に切り離すか、さもなくば學問を以て實際の尺度としない様なものに改造されるまでは、諸君の杞憂も亦無理からぬものであるが、と言つて決して何時までも學問に執着をする必要はない、一方學問でが巧利を求めんとするならば、諸君は何處までも實際で闘へばよいのである、中には學問から實際に進んだものとは到底拮抗されないものゝ如くに考へてゐる人が未だに多い様であるが、これは決して左様なものではない、極端なる東は極端なる西となり、善も過ぎると惡となる、凡そ極點と極點は一致するもので、學問の部門を極端に専攻した人は、それだけより能力がなくなり、融通性のないものとなり、其の活動領域は非常に狭いものとなるが、之れと反對に實際で進んだ人は、専門的でない丈に能力は全面的のものとなり、融通性に富んで居り、活動範圍は非常に廣いものとなる。

此の實際的に完成された人を、世間では苦勞人と言つてゐるが、此の苦勞人は自然科学の法則に據つて、精神的に修練される處が多いから、人間化される事に恵まれてゐるけれども學問で進む人は物理科學、機械科學を初め、とにかく人類の文化と言ふ大所高所に着眼點を以てゐる丈に、物質的に研練される處が多いから、究極する處は機械化されざるを得ないものとなるのである。

るのである。

學者は味氣のないものだ、慾も得もないものだと言ふのは、物體化され、機械化された事を婉曲に言つてゐるに過ぎない。

利巧は馬鹿の使はれ者と世間で言ふ如く、學問あるものは學問のないものに使はれるのが、社會人類生活に於ける定則である。

即ち學問ある人を望んでゐる人は、自身にそうした學問がないからであり、學問の自給自足が出来ないからであるが、それだけその人は別方面に働きを強めてゆく、世は廻り持つと云つて、よく庄屋、鐵砲、狐等が子供等の勝負事にされてゐるが、學者を假りに最上位の庄屋に措いても、此の庄屋は最下位の狐には負けて了ふ、實際が徹底するならば教育等はものゝ數ではない、自治の要職にあるもの、國政の樞機に參劃してゐるものは、多く實業界から出た人であり、實際的に練磨された人であつて、教育のない人が過半数を占めてゐるのが事實であるが、而もこれ等の人が高等官や學者、専門家を叱咤してゐるのである、即ち無學な者が學問ある人を使ふと云ふ事は、向後の社會變化にも適用されるに違ひない。



如何となれば社會は益々商工を基調とした實業方面、實際方面へ向つて、最も快適な歩みを續けてゐるからである。

故に諸君は前章に述べた就職の新しい分野と共に、學問と實際の歸趣を、更に大きな眼を持つて眺める必要がある。

## 第六章 就職前の準備と心得

### 第一節 就職の當りと豫想

就職の概念は前記各章に略盡されたから、今度は愈々就職運動を開始しなければならぬと言ふ、實際問題に當面した場合の準備と心得に就いて、以下改めて論じたいと思ふ。

先づ第一に提言する事は、諸君等の就職運動が如何なる形式を踏み、如何なる方法に従ふにしても、最小限度一ケ年位の餘裕を残せる様にしなければならぬ事である。

これは就職の準備をする爲めに必要である、もし小學から中學に進んだ中學生であつたら、その人は入學の試験準備と言ふ事を體驗された事と思はれるが、就職に於てもこれと同様で、何の研究も準備もなく、只漫然と就職を志す事は、非常に無謀であり冒險である。

これと反對に充分な研究と準備を整へてかゝれば、それは獨り就職上に有利なのみでなく、就職後に於いても色々な便宜を齎す事になる。

扱て入學準備に際しては、自分の入學し度いと思ふ學校を幾つも豫想して、之れに應ずる丈の準備をなすが如く、就職に際しても多少の當りをつけると共に、其の幾つかを豫想に加へて措き、此の中のどれが成功しても、自分としては一向に不服はない、と言ふ事前の決心を定める事が大切である。

此の大體の當りは自己現在の實力と家庭現在の實狀を基準にし、通勤か住込かの中、何れか一つを決定する、次は智能、技術、勞力の三つの中何れに關係多いものか其の一つを決定する、次は官廳方面、商業方面、工業方面の何れか一つを決定する。

此の決定した一つ宛を加算すると、大體に於て諸君が望む當初の就職が、何の邊にあるかと

言ふ事が自ら決定する、即ち左記の如くに一種の方程式が出来る。

通勤十習能十官廳＝給仕

住込十努力十商業＝店員

通勤十技能十工業＝職工(手厚)

勿論此の方程式は正確なものでもなければ絶対的のものではない、諸君の常識に訴へた方がより確かなのであるから、これは寧ろ結果から押して、其の不合理的な處を發見して貰ふ爲めの参考に過ぎない。

例へば通勤十努力十官廳＝住込十技能十商業＝等と言ふと経験者には此の回答は何でもないが、未経験の就職者には一寸回答が出来なくなるから、其處は常識によつて、これに最も近接したものに變更する、次に豫想は以上を参考に五つや六つを作る、例へば商店なれば呉服屋か小間物屋、書籍商等、工場ならば化粧品製造、食糧品製造、製薬工場等々の如き例で、此の自分が選んだ豫想範囲のものであつたら、それでも必ず満足されると言ふものでなければならぬ。

尙特に注意する事は此の場合知名の官廳、知名の商店、知名の會社、知名の工場等と名喰ひ名選びをして、就職の分野を縮めてはならない事である、諸君の希望する職業で、事業の筋が通つてゐるならば、それは如何に規模の小さいものでも、創立の日の浅いものでも、決して差支へはなく、寧ろそうした處から出發して経験を深め漸次知名へ志すのが賢明である。

次にもう一つ注意せねばならぬ事は、斯く自分の決心がついたなら、今度は其の決心を先生、両親、兄弟、長老、先輩、其他に打ち明けて、自心の希望する處が適切なものか何うかを批評して貰ひ、其の意見を求める事である、即ち普通の基礎教育だけで職業の経験がないものとすれば、其の選擇も當時に於ては、一種の憧れに過ぎないものである、後日それが適中しても亦適中しなくても、其の當時に於ては右の如く憧れと解すべきものであるから、斯うした事を獨りぎめにする事はよろしくない、自己を知るものは自己以外にないと言ふ事も一つの眞理であるが、而も自己の力丈で知る事の出来ないものもある。

況んや経験のないものが、あれが自分に適してゐる、これは適してないと、どうして適確に断定推測する事が出来るであらう、出来ると言ふには身内のものなり、知合のものがそうした

職業に従事し、その得失を教え教えられた場合か、自身がこれを知見した場合に限る何れにしても斯の如き重大な場合には、何うしても自己の長所や短所、天分や性格等をよく知つてゐる人に精査考究して貰ふ、自分が卒業したらこれだけのものになり度いと思ふが、自分に適當してゐるであらうか何うかと言つた具合に、遠慮なく意見を貰ふ事を忘れてはならぬ。

## 第二節 就職先に對する豫備知識

扱て以上の如くにして、就職の當りと豫想がついたなら、今度は其の希望する職業に就いて、常識的な豫備知識を養ふのである、例へば商業の部門に於て出版業を志し、此處の住込店員たらんとするものであつたら、出版業とは何うした仕事であるか、差し當つて自分自身がなすべき仕事は何うしたものであるかと言ふ實務の大體を知つて置く事が便宜である。

職業部門の豫想が一つなら一つ、二つなら二つ、三つなら三つ丈け知らねばならない。

これは勿論専門的とか職業的とか言ふ意味ではない、常識的な簡潔な意味のものであるから親、兄弟、先輩、知人、年長者、そうした方面の知人等から聞いて、その勤め先の實務の大

體を知る事は差して難事なものでない。

次には自己の目標に選んだ就職先の事情を考へ、先方では如何なるタイプの人、如何なる性質の人を望んでゐるかに就いて考察せねばならぬ。

換言するならば如何なる風態の人、如何なる性質の人、如何なる特徴を持った人を望んでゐるかを洞見して、其の希望に適應されるやうに準備と努力をする。

此の先方の要求は其の經營者とか主宰者、乃至、監督する人の理想、又は方針等に據つて、色々變つてゐるから一概には言へない。

けれども物質上では職業の種類に據つて大體共通點があり、精神上では職業道徳と稱するか又は社會の通融性と言ふか、之れ又大體に於いて共通してゐる。

其の第一は身體の健康であること

其の第二は風貌の醜くからぬもの

其の第三は言語動作の活潑なることの三つで、これを補足するものとして

其の第一は頭腦明晰、應用の才に富んでゐること

其の第二は勤勉で忠實で忍耐力のあること

其の第三は努力的で進歩的である事

即ち今日の所謂實業界が要望してゐる人物とは、以上の如き人であるが、少しく解説すると、単に智能や技能が進んでゐる事以外に、勤勉家である、努力家である、温順で忠實であると言つた性能方面であつて、特に一生懸命に奮闘する人を一番望んでゐる。

然し最近の傾向として注目されるのは、風采の醜くからざるものと云ふ新條件で、これはデパートを始め一般公衆を相手とする方面では、常時客人に好感を興へる必要があると云ふ事や、其他複雑な人間性の要求から、此の一件が頃に重視されるに到つてゐる事を銘記すべきである。だが本章に解くものの中には準備の極めて容易なものもあるが、又頗る至難に思はれるものもある、例へば言語動作、容貌風采と言つた如きであるが、これとても心がけ次第、努力次第で或る程度までは、其の目的を達成するに不可能ではない、言語の悪い人は讀書や會話に據つて修正され、動作は人の禮儀作法に教へる處と、自身の精神修養に據つて漸次改善され、容貌風采は清潔と規律に據る外、男子相應の身だしなみに據つて、改良される、風采の悪いナポレオ

ンが寫眞や俳優に就いて風采の極意を知つた等は有名な話である。

### 第三節 就職運動の第一階程

以上の如く一方に就職の適確な當りと豫想を作り、之れに對する豫備知識を養ふ一方に於て、諸君は更に其の就職の運動を開始しなければならぬ。

是は其の職業（確立したものでないが假りに職業と言つて置く）の種類や性質によつて色々異なるから、後編の實際手引に於いて、各部門毎に解説するが、爰では最も一般的なものの普遍的なものに就いて、其の大體を述べて參考にする。

先づ第一には「履歴書」と言ふものを作るこれは半紙又は罫紙にペン又は毛筆（毛筆が願望）で、自己の原籍、現住所、戸主名、何男、姓名生年月日等の身分を現はすものと、何年何月に何々の學校に入り、何年何月に卒業したとか、何年何月何々の講習會に入つて何々を修め、何年何月に之れを了へたとか、何年何月に何の事由に據つて賞を受けたとか罰を受けたとか言ふ學歷を明かにしたもので、其の書き方には略定つた形式がある、當今は勤め人に限らず大體

の人は此の書き方を知つてゐるから、就職の経験ある人に聞いて完全を期する。

次に(一)受持教師又は學校長、(二)自己の知つてゐる最上級の人(社會的地位を占める人ならば一層好都合)、(三)親交ある先輩知己と言つた人に、此の履歴書を托して就職方の斡旋を頼むのである。

又實際上最も効果のあるのは、自分の目指す方面の關係者を物色し、前記の人達に直接斡旋を頼む以外に、さうした方面への紹介を頼むと言ふ間接的の依頼であるが、これは相當就職上の體驗あるものが、所謂就職戰術の一つとして取る手段であつて、初期の就職者としては、篤と考慮し其の時と場合を選ばねば、非常に潜越なものになるかも知れないから、初めの中は万事宜紙を以て臨み、直接依頼の方法をとつたが間違ひがない、次は職業紹介所に就職の希望を述べて、就職上の斡旋を頼むことも一つの手段であり、又日常の新聞案内欄に注目し、自己の希望と符節する求人廣告があるか否かを、絶えず努力を以て考調する、もしこれならと思ふものがあつたら、一應父兄其他昵懇の間柄と相談した上可及的迅速に其の募集に應ずる、即ち至急履歴書を送れ面會日は何れ通知するとあつたら、早速履歴書を送附する、速達郵便を可能とす

る地域の人なら速達郵便に據る事が大切である。

又午前午後何時より面會本人來談と言ふのであつたら、やはり履歴書を携帯した上、指示した時間に出向く、時間が指示されてゐなかつたならば、午前八時半から午前九時まで、何でも早い方が勝である。

凡て募集等と言ふ時には、同一希望者が此處に殺倒するものと覺悟し、時間に遅れるやうな事があつてはならぬ。

逸早く募集に應ずる、誰れよりも早く出頭する事は、其の就職に對する自身の熱心と眞剣さを表徴する事にもなるから、時間に遅れても満員になりましたからと斷はれるに、万々越してゐる事は今更縷説するまでもない。

#### 第四節 自力を認識させる運動

此處に述べんとする就職前の心得は實質的部門の叙述で、曩に述べた就職の總體的抽象的の觀念とは自ら違つた技術上の事に屬する。

先づ第一は自己の實力を認めて貰ふ事で、これは小學生でも、學校在學中にする事が最も得策である、それは學生は未だ社會の荒浪にもまれてゐないから、大體に於て純眞なものであると言ふ點で、世間の信用が強いからであり、學校を出て社會の空氣を吸つてからでは、世間の信用に非常な相異が出来るからである。

處で此の實力を認めて貰ふには、如何なる事をするのであるかと言ふと、在學中から學問に支障なき限りなるべく交際を廣くし、文通、訪問、其他の方法に據つて自己の性格とか長所とか天分とか言つたものを、出来るだけ多くの先輩に認めて貰ふ様に努力する事である。

これは決して凡愚を情實に據つて、押賣りしやうと云ふのではないから、自ら省みて決して恥すべきものではない。

これを今少しく具體的に言ふと、文通は新年の賀状、暑中伺ひ、近況報告等を始め修學旅行等に於ける旅の便り、近火、地震、風雨、水害、病氣等の見舞、或は昇級、榮轉、出産、婚姻其他の祝事から弔事等々、少しく自己周囲の人の動靜に注目する處あれば、機會は何時でも自由自在に擲める。斯した時の一本の葉書なり手紙には、簡潔な中にも自己の知見とか情操を折

り込んで、誠意と篤實を現はせば、知らず知らずの間に、自己の實力を先方に傳へられるし、直接訪問の如きも亦同様右の様な場合に作られ、それが偶々將來自分が就職しやうとする方面に活躍してゐる人であれば一層好都合となる。

けれども逆境裡にあつて、そうした社會の要人と文通とか訪問の機會を容易に作れない人であつたら、何かの相談とか指導とかを受け度いと言つた事で、學校の先生、校長、或は同級生等から推薦なり紹介なりをして貰ひ、其の一人を得たならば、次から次と此の方法を重ねて實際關係を擴めてゆけばいゝのであつて、努力さへ惜しまねば、斯した途はいくらでも拓かれてゆくものであるから、決して身分とか境遇等を云々すべきでない。

斯様にして度々先輩とか要人に接觸してゐる中には、その長所なり若しくは卓越した技能なりが認められ、これが動機となつて、卒業後の就職運動が、他の努力せざる人達よりも、餘程圓滑にゆき多くの便宜が得られる。

言ふまでもなく今日の如く深刻なる所謂就職難時代には、いくら優秀堪能な天質を持ちながらも、斯うした努力なき爲めに、自分の目指す就職を、他の實力少き人の爲めに、見すくと

られる事も一再ではない。

即ち職業紹介所等の手を経て、輕うじて就職の手筈としたり、新聞の案内欄丈けにすがつて就職しやうと言ふものでも、仔細に研討するならば、或る有力な先輩の紹介状を持参したもので、遙かに優秀な人材もあるであらうが、到底有力者の裏書、つまり紹介、推薦状を持った以上に優先権を握ると言ふ事は、理想はとも角も實際的には至難である。

これが單なる履歴書とか身元證明とかの外に實力試験でもし、此の方面に重きを置く場合であれば、眞の實力も發揮されやうし、そうして他力を背景にするものは除外される事もある。然しさうした理想採用に據らざるものは、斯した一枚の履歴書而も小學生、中學生の場合、職業経歴がないから至極單純なものであり、十人は十人先づ以て同じものと見て差支へないものであるから、これを通じて其の人の性格、特徴、身分の確實さを推定する事は至難であり、此の場合に於ける社會要人の裏書は、何と言つても有利なハンデーキヤツプを持たされてゐると言つても間違ひはないのである。

勿論科學の進歩した今日斯る就職上の技術がある等は眞に敬服すべからぬものであるから、

就職戦上では紹介状等に重きを措かぬのみか、學校の成績證明同様精神査證（實際のテストでないもの）にも重きを措かぬ又三井、三菱等の最近では、或は採用試験さへ格別重きを措かぬ、之れは何れも理由があるが後編で之れを論ずる。これが現在の職業戦線の偽らぬ實相なりとなれば、諸君は此の點に就いて篤と考察する處がなければならぬ。

現代では名稱が一番大切だと言ふ。即ち人は其の名に據つて社會に馳驅し、商品はその名に據つて販路を開拓するが、而もこれは宣傳に據つて始めて奏効するもので、假令万人に優れた人でもこれを世に出すべく後援するものがなく、又非常に優れた商品でも、其の存在なり特質を世人の多くに宣傳する事が出来なければ、其の商品の販路を擴大する事が出来ないと同様、其の人の眞價を裏書して呉れるものがなければ、折角の人物も泥中に埋れて了ふ場合が多いからで、之は常識判斷で首肯されるものである。

### 第五節 職業常識の涵養法

第二に心得て貰ひたいのは常識の涵養である、最近の職業戦線に於いては學問よりも精神の

査證所謂メンタル・リストと言ふ事が、非常に重きを措かれて来たと言ふのも、斯る要求の  
 つの現はれである。

これは後章更に詳しく説述するが、學問以外の學問と言ふか、實際の社會としては學問より  
 も此の方に重を措いてゐる。

殊に小中學の諸君から特に教育や教育の應用等と言ふ困難な要求はしない。

況んや今日は實業なる言葉が廣くなつて、學業の領域が狹められてゐるから、一層此の常識  
 は必要なものとなるが、これは學校教育ではとかく輕視されてゐるもので、理論に對する實際  
 方面の事である。

此の常識は智育、徳育、體育の三部門に亘つて、何れも理屈とか感情とか言ふ一方面に走ら  
 ず中庸の考へを持ち、これ等を総合的な大智識として簡易に消化してゐる時に、始めて圓滿な  
 常識と言へる。

それであるから右の如く智育、徳育、體育と言ふと頗るむづかしい様にとれるが、此處では  
 凡てが簡易なもので、日常の生活に多く關係あるものを言ふのである。

例へば智育の例を擧ぐると、現在の實業家として有名な人は誰れか、大東京の人口はどれ程  
 あるか、都會と田舎の相違は何處にあるかと言つた様なもの、徳育の例でゆくならば、實業家  
 として最も大切な心掛けは何であるか、自己の家族と主人は何れが大切であるか、先輩や長老  
 は何故に敬仰せねばならぬか等、更に體育の例で言ふならば健康と精神は如何なる關係を結ぶ  
 か、病氣は何うした原因で起るか等と言つたもので、これは一種の試験の形式をとつた常識の  
 研討であるが、實際の場合にはもつと小さな場合が多い例へば智の方で言ふと何分間で何處其  
 處まで行つて來られるかと言つた場合に、其の大體の距離を想像し自轉車なら何分、市電なら  
 何分、省線なら何分と判定出来るには、色々小さい方面の常識が集つて一つのまとまつた智識  
 となるものである。又徳育で言ふと戸障子の明け閉て、客人に對する茶菓の出し方、これは別  
 段禮儀作法の教養がなくても、常識で判斷されるものである。即ち戸障子等は極めて靜かにす  
 る、これを亂暴にすれば其の人間が疎暴で教養がないものとなり、又斯く亂暴にすれば其の物  
 は早く破損もし、更に病人や子供のある家ならば、其の音響は非常なさし障りになる又主人と  
 客人が對談中にお茶を出す、此の場合は勿論二つの茶を川意し客人を先にし、次に主人と言ふ



様に、順を誤らない様にせねば、こいつは常識がないなあと思はれる、此の常識は自己の智見を徒勞にしないと云ふ考へで、注意深くすれば自然と會得して來る、即ち新聞や書籍を讀む事からも教へられ、人と對談應接してゐる間からも教へられる、更に芝居、活動等に於て、色々な人物の動作に注意する事によつても教へられる、とにかくこれは實際的の知見を擴むると言ふ諸君自身の心がけに據る事が最も必要である。

### 第六節 就職上の特別心得

第三は小事に對する關心で、學校時代に於いては「子供等よ大望を抱け!!」と言つた風に、成功するものは小事に拘泥せず、常に目を大所高所に置けと言つた事を教えられるものだが、實際場裡では何でもない様な小さな事が人に認められる動因となる。

水一杯の汲み方、紙一枚の費ひ方、至極平凡な事が使ふ人としてはより重きを措く此の少年はあゝ言ふ具合に注意深く水を汲んで一滴も無駄にしない處を見れば、此の人間は堅實、忍耐、勤儉、實直、緻密だと言つた様に、色々よい方に轉化されるが、一杯の水の汲み方に失敗すれば

ば悉くこれと反對にとられて了ふ。

この小事を忽がせにする人で大事に成功した例を聞かない木下藤吉郎の早起きと懐中草履は有名な話で諸君の凡てが知つてる事と思ふ、即ち潔癖な信長は非常な早起きでとんでもない時に起き「誰れかある」と呼ぶと藤吉郎は極つて「ハーハー」と罷出いざ御履物と言つて草履を揃へる、其の草履が又常に暖かい、之れは常に身肌につけて暖めてゐたもので、藤吉郎が主人思ひの眞情が既に於て此一事に盡される、むべなる哉彼れは後年位人臣を極め、關白太政大臣として天下を掌握すると共に、豊太閤と稱され、神と崇められるに到つてゐる、之れによく似た例が現代にもある、セメント王と言はれた淺野總一郎翁に仕へ、當時其の靴を揃へる事から認められ、遂に實業界に其の名を録した阿部吾市氏等又よき活例である。

即ち單に斯る一例にとゞまらず、今日の社會に立派な成功者として、尊敬されてゐる人々の行動には驚く程の細心さがある。

それが日常生活から轉じて職業の上に及び更に獨立後の事業經營に及ぶのであつて、實業界の成功者となるには、特に此の細心の注意小事を重視する事が必要である。

尙もう一つ此の項につけ加へて置く事は、斯した就職運動に入つたら、實務に服すべき資格の養成が第一となるから、筆書、珠算、作文等に力を注ぐと共に、事務的、勞力的方面の智識例へば鐵道運賃、郵便料金、運送荷造、商品受渡、其他に就いて着々準備を進めねばならぬ、それは何れの實業方面に走しるにしても、又事務や勞働を區別せずとも、共通される必要事項であるからである。

## 第七章 就職の技術と必勝法 (一)

### 第一節 就職に術策ありや否や

扱て最近「就職戦術」とか「就職技術」とか「就職必勝法」とか、色々耳新しい言葉が次々と傳へられてゐるので、誤つた考へを持つ人があつてはいけないと言ふ老婆心から敢てこゝした一項目を設けて、之れを氷解しやうと言ふのである。

之れは別に手品の種の如きものがあつて、此の種を知つてさへ居れば、誰れでも思ふ儘の就職が出来ると言ふのでもなく、又往時に唱へられた柔劍術の極意皆傳(或は解釋次第でそうともとれるが)と言つたものがあると云ふ意味ではない、つまり今まで述べ來つた準備と心得を完全に會得出来れば、それが其の儘、就職戦術となり技術となり秘勝法となり極意ともなるのであつて、究極する處社會常識以上に何ものもないのである。

即ち以上の戦術とか秘術とか言ふのは、個人の情實にすぎりコンミツションを使つたりして自己の力を買かぶせたり万一の傍伴に據つて他を出し抜くと云ふ卑屈な方法を指すものではない、何處までも自己の力を基調とし、準備と決心と勇氣と努力と誠意と熱意を以て正々堂々と乗り込むものであつて、人類の尊き使命を果す爲めに、先づ己れそのものゝ力を認識する一方、社會の要求する素質を養つて人間の一生を無駄にしない、斯して人間の需要供給を合理化する點にあるのであるから今更此の一項を新に追加する必要もないわけであるが、然し何れにしても社會は複雑多岐なもので、人間は單に實力があつたばかりでも駄目である、と言ふのは其處には運命の支配もあれば努力の如何にもあつて、就職の理想と實際も常に一致するものと

は斷じられないから、實力を以て尙且つ不足とする點即ち何れかと言へば後者の運命とか努力と言つた第二義の點を若干にても補足し、人事に於いて眞に最善を盡し得たと思はれる十全の對策として、以下少しく爰に論及するのであるが、既にして正しい認識の上に立つた處のものであるから、これは決して世間を瞞着したり求人者の目をくらます、奸手段等と混同して考へてはならないものである。

### 第二節 就職運動の種類と方法

(一)人を通じて就職運動をする場合。

先生、知人、先輩其の他凡て自己より目上の人に就職の斡旋を依頼する場合。

此の場合には克く自己の長所と短所を明かにし、次に自己の決心と熱意と用意を語り、其の人の納得を得たならば、成るべく即座に紹介状を認めて貰ふ、もし其の人が僕の方から先方に紹介してやるから履歴書を出し給へと言ふのであつたら履歴書を出す、此の場合には必ず爾後の経過を知らして貰ふ事、可否何れとも求人先の確たる回答に接し得られる様、依頼の當初に

於て特に念を容れる事が必要である、これは其の人を疑ふわけでもないが、履歴書や紹介状の出し放しの爲めに、あてどもなく之れを待ち暮したり、折角自身の熱血を込めた履歴書が反古になるやうな事では、依頼した事も依頼された事も無意義になる、勿論可否の運命は致方なきも、自他共に社會共存共榮の熱意と眞情あらば、其處まで強く押すのが當然であり、之れを容れるが當然な筋道だからである。

只何れにしても依頼する者と依頼される者は立場が違ふから、時日にも相當の餘裕を残し決して催促がましい事のない様、禮を失して感情を害する事のなき様、此の點は充分注意すべきである。

(二)就職先の紹介状を貰つた場合。

前記の如くして當座二枚なり三枚なりの紹介状を認めて貰つた場合。

此の場合には紹介して呉れた人の厚意に酬むる意味に於ても、社會一般の通儀に據つても、成るべく早く此の紹介状を手にして、其の求人者を訪ねる事が必要である。

勿論別に自己の名刺（小中學程度の人であれば、必ずしも必要とは言はぬが）履歴書、此の二品は持参せねばならぬ。

然して先方を訪ねたならば、其の紹介状が主人宛であれば主人、支配人なれば支配人、番頭なれば番頭であつて始めて意義をなすのであるから、「何々様は御在宅でせうか」或は「何々様は御在社でせうかと其の本人の在否を尋ね、何處までも紹介名宛の本人と直接會見する事で、もし不在なれば其の在否の都合を聞き正し「それでは何れ又御伺ひ致します、何々と言ふものが誰々様の紹介でお尋ねしたと御傳へ下さい」と言つて立歸り後日又日を新めて出直す、勿論紹介状や履歴書等は夢にも置いて來てはいけない、もし愈々其の名宛の本人と會見が出來た時は、最初に名刺と共に紹介状を出すのである、之れを名刺丈けを先に出したり、履歴書丈けを先に出して、後で紹介状を出すやうな事があつたら、先づ以て落第である、只一枚の紹介状も出し方一つによつて効果を失つたり、取扱ひに疎忽があつて、面會前にウツカリ置いてとも來やうなら、後で取りに行く事は出來ず、其の儘効力を失ふ様な事が出來、自身ばかりの損失か紹介者の厚意までも棒に振つて了ふのであるから、之れは決して輕々しく扱つてはならぬ。

附し然しその紹介名宛が、會社名、商店名、部名、課名、係名でもあつた場合とか、一般紹介所から出す紹介状の如きものであつたら、其處の庶務なり係主任なりに出してもいゝわけで、これは諸君の常識に俟つより外はない。

### (三) 單身が直接にする就職運動

之れには相當の時間的餘裕を残した場合に限られる即ち理想選舉を標榜して、孤立無援で立候補したものと同様、如何なる人の力も借りず、又何等の好便も有せずにする一種の賣込み運動で、百戰萬場、就職戦線の闘士にして尙且つ至難を訴へるものであるから、初心未経験者には固より至難の方法であるが、然も小中學生成にしても最近之れに據つて成功してゐる人も少くないし、實力と努力の成果を如實に表現する痛快な就職戦術でもある。

其の目的は何々の業で、何々の店の何々と名指しをし、如何なる艱難に遭ふとも必ず其の就職の目的を果して見せると言ふ悲壯な決心をした場名で、最初は書信に據つて面會を許すと言ふまで運動し、一度面會が出來たら、今度は就職を許すと言ふ處まで運動するもので、非常な持久戦を覺悟せねばならぬ。

此の場合の方法は頗る複雑で、後章述べる各種の心得を悉く適用せねばならぬ。爰では其の實例の一つを掲げて参考とする。

之れは或る青年が、東京のある百貨店に店員として採用され度いと言ふ希望を持つて、書信に訪問にお百度を踏んだ結果、とも角其處の秘書課長と面會する事が許された然るに其の青年は自分は飽きでもお店に這入り度い、どうしても這入らねばならぬと主張した、其處で其の秘書課長は君が當店に這入らうと云ふ堅い決心を持つておられる事は御自由であるが、例ひ君が如何様に堅い決心を持つて居られても、當店には當店としての希望もあり目的もあるのであるから到底君の入店を保證する事が出来ない。そんな融通の効かない一徹な氣持を改めて、他の方面にも就職の運動をしたらどうか」と忠告した處が、其の青年の言ふには「自分は何處までも貴店に這入ります、ですから如何なる事があつても、他の方面の就職運動は斷じて致しません」ときつぱり言ひ放つて、其の日は物別れとなつてしまつた。

處が愈々其の百貨店の社員募集が始まり、採用試験となつて件の青年が再び現はれた其の結果その青年は物の美事にパスしてしまつたのである、それもその筈である、その青年は其の百

貨店に入店し度いと言ふ一念からデパートメントストアに就いて、あらん限りの研究を遂げ、立派な一見識を持つてゐたばかりか、其の店の要望する凡ての方面に、これまた遺憾ないまでの研究を積んでゐたからである、然しこれは諸君が一定確立した、後來の職定めに適用すべき性質のもの故、敢て筆者は此の方法を本書に於て論じ度くはない、此の例もさうした只一つの参考に資するに過ぎないものと承知して貰ひ度い。

#### (四) 募集廣告に據る就職法

之れは新聞の案内欄に據つて、店員とか、給仕とか事務員とか師弟とか言つたものゝ求人があつた場合、之れに單獨應ずる時である。

此の場合には先づ自分の望む方面の就職と、自分の實力とが、果して合致してゐるものか何うかを第一に確める。

第二には先方の望んでゐる希望條件に適つてゐるか何うかを確める、尤も別段希望等を附してゐないものもあるが、それでも仔細に其の文面に注意すると凡そ先方の希望が何の邊にあるかと知れる。

今其の一例を次に掲げる、之れはある日の東京日々新聞の案内欄に出た廣告文面の原文其の儘のものである。

- (1) 店員募集 商業卒程度、市内保證人、本人履歷書持参、日本橋區村松町十月星印名刺本舖藤木商店
  - (2) 少店員募集 年齢十四歳より十七歳迄、履歷書持参委細面談、芝金杉二丁目電停前サクラ糊本舖
  - (3) 給仕募集 十九歳迄勞働不厭健康者、履歷書持参廿八日午前十時より正午まで本社、銀座六丁目三銀線館内興藝通信社
  - (4) 給仕及調理見習募集 午後二時より四時、本人來談、年齢十八歳迄西銀座七丁目國民新聞筋向佛伊料理ポントン
  - (5) 書生募集 十七歳まで高小卒程度、面會時間午後四時より同六時迄、麹町區飯田町四の七、南龍堂醫院
- 之れは至極平凡な一例に過ぎないもので、とりたてて希望を附したものと云へない。

今此の文面に據つて説明すると、自分が單に店員を望み、給仕を志したとしても右の(1)の場合の如き普通店員と(2)の場合の如き小店員の場合があり、(1)の場合には商業程度とあり、尋常高等以上に實業補習なり夜學の商業なり、或は少くも中學三四年位まで先方で望である事が知れ(2)は尋常、高等位で足りる事が知れる、故に自分には普通店員が適切か、小店員が適切か其の實力にたづねて判斷せねばならぬ。

又給仕と言つても官廳の給仕銀行の給仕、會社の給仕商店の給仕、飲食店の給仕と多少相違の點があるから、自分には何の方面の給仕が適當してゐるか考へねばならない、即ち官廳、銀行、會社の如く來客の取次ぎ、電話の取次ぎ上役の雜用、お茶の給仕等を主とするものがあるかと思へば(3)(4)の如く自轉車の使ひ走りや、荷造り發送等の如く純勞働に近いものもあり、又コツクの見習の如く、客人のサービスを主とする、純然たる飲食給仕もあるから、此の點は篤と考察せねばならぬ。

第三節 重視すべき希望條件

次の先方の希望条件これも決して閑却出来ないもので、如何に自分は其の方面を望み、自信があつても、此の先方の希望条件に合はねば目的を達成されない。

即ち(1)の場合は商業學校卒業程度とあつて商業上の基礎教育を望んでゐる、これは尋常高等以上であつて、主として商業と言ふ職業教育を要求してゐる事が知れ、(2)では十四歳より十七歳までとして、純真無垢の少年を求めてゐる事が知れ(3)では労働を不厭車や自轉車で駆け廻れる事を言外に語つて居り(4)では將來飲食店方面に身を立てやうとする者、此の方面に志を持つてゐる者を要求してゐる事が知られる、又履歴書の要不要、保證人の要不要、面會の時間指定等も、先方の希望として重視すべきものであるが、特に希望を附した場合は、同じ店員、給仕其他何でもであるが、簡単に例を擧ぐると次の如きものである。

(1) 多少小賣に経験あるもの(2) 多少とも外交に自信あるもの(3) 當方に永勤出来る者(4) 本業業種業、出版業、呉服業等々を以て將來の身を立んとする者(5) 體健にして労働を不厭奮闘努力の精神に富む者(6) 當方指定の技能を専攻する事(7) 夜間通學を希望せざる者等々

小中學生の如き初心の就職者に對しては大體自家用向きに教養し、其の仕事に専念させやう

として、色々な意味で制限を設ける事が多いから此の點を注意せねばならぬ。

尙此の案内廣告に就いては、色々注意すべきものがあるが、多くは後來の確定職業の場合に適用されるものであるから、本書では深く論じない事にしてある。

只諸君が此の募集に據る場合には、一應近親と相談して大體に於いて、これならば大丈夫であらう(求人先の信用を指す)と言ふ判定をつけて貰ひ、それから其の文面に指示する履歴書を持参し、指定の面會時間に出頭するのである、尙特に注意すべき點は諸君等に對して保證金を要求するものは、九分九厘までは感心したものでないから絶對的にこれを除けたが安全である事、又保證人とか身元證明を必要とするものは、採用と決定してから始めて意義をなすのであるから、紹介状と混同して最初から持参等してはいけない「適當な保證人があるか!!」と言つたら「あります」と言へばよろしい、採用と確定してから持参すべきで履歴書と同様に輕く扱ふべきものでない、尙面會してから後の事は以下項を改めて論ずる事にする。

## 第八章 就職の技術と必勝法 (二)

## 緒言 就職直前と就職直面の違ひ

前章までは主として就職直前に於けるものを諸君に手ほどきしたのであるが、此の章では就職に直面した場合の手ほどきをしやうとするのである。即ち(一)人を通じての場合(二)紹介状に據つた場合(三)單身獨力である場合(四)新聞廣告に據る場合(五)試験に據る場合(後章別記)何れでもよろしい、以上の運動に據つて愈々求人者も會見して、就職の可否を決定して貰ふと言ふ、晴れの本舞臺に臨んだ場合である、勿論今までの準備と心得が充分會得され、それが爰に如實に表現されるならば、最早採用される事は疑ひを容れないが、諸君が如何に入學試験の準備に万全を盡しても、最後の試験場に於いて旨い回答が出来なければ、やはり落第してしまふと同じ事で、此の就職の場合に、一ヶ年の準備と努力が遺憾なく達成されても、求人者との直

接會見——即ち晴れの試験場でしく尻ると、これ又ドロップとなつて目的は達成されない、據つて以下求人者との直接會見、所謂就職戦線の本舞臺に臨む場合の心得に就いて述べる。

## 第一節 就職と時間の觀念

凡そ就職戦線に當面した場合、何が大切と言つて此の時間位大切なものはない。

西諺に「時は金なり」と云ふ言葉があるが實業界では特に此の時間を重んずるが故に、特別な事情に據る以外の、斯うした就職等の場合には、殊更に時間の指定があるものであり、若し指定がなければ、より以上重大な意味が含まれてゐると解してゐるのである。

先づ順序として述べるならば、人を通じて紹介され、求人者が何日の午前午後何時何分に、會見させようと言ふのであつたら、其の指定された時間に必ず行く、若し一分なりとも遅れたら落第である。

又紹介状を持参してゆく場合でも、何時から何時までの間なら御會ひ出来ると言ふのであつたら、最初の時間に行つて、先方が居なくても待つてゐる事である、即ち午前九時から正午ま



でなら何時でもいゝと言つて来た時に、十一時に行つたり、ギリギリ一杯の正午に行つたのは落第となる、又單身獨力で就職運動をした結果、とも角も一度會ひませう、金曜と土曜日以外は何日でもいゝからと言ふ事で、時間の指定がなかつたとする、斯うした場合は最も常識を働かさねばならぬ處で、一例を擧げて言ふと其の人は支配人、課長、係長の何れであるか、其の人は平日何時出勤の何時歸りか、何時頃が一番忙しい人であるかと言ふ事を最初に判定する、次には早朝もいけないと言つて正午の食事時間もよろしくない、又退け時では一層いけない、であるから午前ならば十時から十一時、午後ならば一時から三時頃までと言つた様に誤らない判定をつける、次に新聞の募集廣告であるが、これも午前何時、午後何時と指定があつたら指定の時間、指定がなければ午前八時か同九時何でもないの一番を指す事が大切である。それから爰で一吋付け加へて置く事は、求人者はともすると斯うした匆々の間に於いて諸君の時間的觀念に對するメンタル・テストをする事である、

と言ふのは時間を指定して置きながら中々其の時間に顔を出さない、二十分、三十分遂に待ち切れなくなつて歸る人もあるが、斯うした場合は四十分が一時間でも辛棒するが大切で、「や

あ御待たせして済みません」先方の斯うした言葉を聴く事の出来る人は九分通り成功するものと言つてよい、それは其の人の忍耐、至誠、熱意、等を研討してゐるからである。

又對談の時間は特に貴重視し先方の問ひに對しては、凡て要領よく答へる、そうして一番最後に自分の決心と用意を簡潔に語り「何卒御採用の光榮を得られます様幾重にも御願ひ申し上げます」と結ぶ、用件が済んだら愚圖々々してゐてはいけない、尤も先方から當方を呼び出して試験をする場合は用が済めば「もう宜しい何れ新めて御返事をしませう」と言ふ、若し何も言はなかつたら「もう之れで御用済でございませうか」又は「之れでお暇をして宜しうございませうか」と言つて引き下るものである。

尙對談中先方の言葉が杜切れ勝になつたり、急がしそうな素振りをしたり、時計を見たりした場合には、もう歸つて貰ひ度いと言ふ一種の暗示と解していゝ事である。

## 第二節 就職と風采の觀念

次は風采に就いての注意である、之れは何も立派な服装をせよと言ふのではない、身分相應

年輩相應のもので、小さつぱりした感じを與へる事である。

求人者と應對した場合まづ第一によい印象を與へるか、それとも悪い印象を與へるか、之れは就職の可否を決定する上の重大な要素である。

先づ玄關先では帽子と履物の調和が第一であり、應接間では和服は羽織、袴、洋服は上衣とズボンに目がそゝがれ、次は頭髮の調整、爪の手入れに目がそゝがれる。

當今のニヤケタ、モダンボーイも落第なれば、明治時代の豪傑氣取りも落第である。

其處で堅實簡素で快適、即ちビチネスマンライクにしてスマートな風采が何よりも必要である、身の廻りに周倒な用意を有する人は、執務上に於いても清潔、整頓、緻密、正確、機敏であるとか何かにつけてよく解釋され、事實又そうした傾向があるものであり、況んや當今の求人界では、此の風采の醜からざるものゝ一項は、共通的な重大要件となつてゐるのであるからこれまた到底輕視すべきものでない。

### 第三節 就職と態度の觀念

次は應對中に於ける態度である。これは亦頗る困難な問題で、世間慣れのしてゐない諸君にとつては、殆ど説明のしやうもないものであるが、而も諸君の就職が成功するか、それとも失敗するか、恐らく此の態度の如何に運命がかかると言つてよく、前者の風采に優ること万々の重要性を帯びてゐる。

即ち端的に言ふならば、傲慢不遜も落第、優柔不斷も落第である、見るからに快活で明るい氣分が漲つてゐる事、卒直で眞摯、而も何等の技巧もない人である。

先方を尊敬する意味からとしても、天真爛漫な學生が下を向いて話すのは感心されない又落付なくそわ／＼してゐたり、無やみに先方をギョロ／＼見廻したり、友達でも相手にしてゐるやうな、大聲笑聲を放つのも大の禁物で以上は何れも落第である。

故によく落ついて、相手の顔を尊敬と親睦の眼差にて、靜かに正視する態度が一番よく、次は先方の質問を最も熱心に傾聴し、屢々聞き返へすやうな事があつてはならず、又先方の話方に細心の注意を拂つて要領を聞き誤る事があつてはならぬ、即ち下を向へたり側きを見たり、キョロ／＼してゐる人は、質問のポイントを掴めず、とんでもない答をすると言ふのは

當然な話である、尙答へは一度口を切つたらどよむようではいけないから、一秒なり二秒なり短い中にも熟考の餘地を残し、「御質問の何々は、又何々は、何でございます」とテキハキと應答して疎漏なきを期さねばならぬ。

#### 第四節 就職と言語の觀念

態度と共に注意しなければならぬのは言葉遣ひである、これは藝にも少しく述べてあつたが今少しく爰で補足せねばならぬ。

國の訛り、生れ國の方言と言つたものは、仲々一朝一夕に直されないが、然し努力に據つて至難の問題ではない、學校等の團體生活では、統一的有機體の完全性を發揮するので、在學中は少しも言葉の心配等が要らなかつた人でも、卒業後再び逆戻りする事が應々あるので注意して措く、つまり一般に通ずる言葉、もつと分りよく言ふならば新聞、雜誌、書籍に上される普通の言葉であれば、少々の訛りは致し方がない。

次はものゝ言ひ方話の仕方である、これは困難しい言葉ですと第一が沈着沈靜、第二が簡

潔、簡略第三が明確、明快である、要約して簡潔明快と云ふ、これが言語の上でも、最高點を獲得するものである。

外國ではイースかノーかで應答する事を、理想の會話としてゐるが、就職戦上の對應では決して無駄な言葉を許されない、問に對する答であつて、それ以外の必要はない。

けれどもその簡潔な中にも周到な用意もあり、緻密な思慮もなければならず、明快な中にも沈着と眞摯とかの餘力を残し、假りにも輕卒な感じを與へる事があつてはならぬ。

故に冗漫な話し振り、狎れ狎れしい言葉づき、早口なもの言ひ、野卑放漫な言葉づき、何れも大の禁物で、何處までも先輩に對する敬語を忘れず、至誠と熱直、克く自身の理智と情操を此の間に表現出来る人でなければならぬ。

即ち求人者は諸君と對談してゐる間、それが五分間十分の短い間にしても、その間に諸君の學識、思想、感情、性格、等の一切を試験する事が出来るのであるら、此の言語は又以て諸君が就職採否の上に重大な要素をなす事を銘記すべきである。

### 第五節 就職と所信の觀念

七八

次には自己の決心と用意を語り、所信を明確にして、求人者の積極的關心を呼ぶ事である。これを多くの實例に照らす時には、問に對する答だけで、それ以上の機會を作れず、何等自己の所信を訴へる事が出来ないで、あつてなく此の實際試験場を引きさがるやうな人の、餘りにも多い事である。

つまり其の人にはそうしたチャンスを把握する丈の餘力がない、言はゞ社會すれにしてない人には頗る至難に思はれる事だが、これは何も特別の技巧を指したものでなく、從來の職業指導家が此の點を能く明示しないからである、即ち就職と言ふものは、第一が自己の決心、第二が準備と用意、第三が自信と信念にあるのであるから、例ひ質問、應答以外のものとされた時でも、一番最後に於いて、これを簡単に付け加へ得られる丈の餘力を残し、また勇氣を出さねばならぬ。

尤も口頭試問等では、何うした目的で當方へ就職の希望を持ったかと言つた様に、先方から

出て來れば、こんな好都合な事ははないが、よしまたくもなくとも、以上の如く當方から仕向けてゆく事が賢明である。

これは前章各項に亘つて手ほどきされて居る處であるが、その事業の性質を理解し、その志望せる所以を熱心に主張する事は極めて必要で、例へ質問應答に多少の失敗があつても、爰に到つて俄然榮冠の圈内に突入する事も珍らしい事ではない。

### 第六節 就職と禮儀作法の觀念

次は禮儀作法の注意であるが、これは玄關に立つた時から應接してゐる間、會談が終つて引き退るまでの凡てに適用するもので、其の部門的實際的の説明は既に述べ盡されてゐるが、此の項では總體的、全般的の心得と承知され度い。

これは禮儀作法と言ふ特別の教材があつて、それが教育上の一部門をなしてゐるものであるが、それは夫々専門的な諸君向後の研究に委ねるとして、此處では就職上に於ける當面の問題丈にとゞめて措く

七九

先づ玄關で案内を求める。「誰々様は御在宅でせうか」——「私は誰々様の紹介で伺つた何々と言ふ者です」「私は本日の新聞廣告に據つてこちら様の店員を希望して伺つたものです」之れは言葉の上の禮儀作法であるが、其の動作の凡てに亘つても、同様丁寧と謙遜の意が現はれ居なければならぬのである。

「さあどうぞこちらへ」「こちらで暫くお待ち下さい」此の場合にかぶりもの、履物等の處置を誤つてはならない。

愈々自身の番が來て直接面會となる「御多忙中恐縮でございます、私は誰々様の御紹介でお伺ひ致した何々でございます、以後宜しくお引立を願ひます」——「扱て實は本年何月學校を出ますに就いて、是非就職せねばならぬ事になり、色々皆様の御意も伺つた上、豫て自分は斯うした事に志を持つて居りましたので、何とかこちらさまの御教導に據つて、一人前の人間になり度いと思ひ、幸誰々様が御懇意な處から、御紹介を戴いた次第でございます」と順に言葉が進み、動作がこれに伴つて細かな動きを見せる、此の間の細かな態度が極めて自然的にゆけばいゝのである。

従つて動作が餘り馬鹿丁寧になつて芝居染みて來たり、無暗にモダンぶつてキザになつたり、と言つて餘りに固くなつて學生の純真さまで失つてしまつてもいけない。

巧言令色は阿諛諂佞に近いものとなり、學生が餘りにペコペコするのほみつともない。故に腹の中には正義と信念があり、言葉には眞實と熱意が現はれ、動作には自然的な落付きがあつて、先方には恩師と對談してゐる時と同様、尊敬と親愛の感念を忘れぬ様に注意深くし、野卑粗暴に流れぬ範圍の純眞と輕快さを持つる事が出來れば万點となる。

それで始めの挨拶は以上の如くであるが、特に歸り際の動作がまた大切で、色々御高説を拜しまして有り難う存じます——「御採用の上は出來得る限りの努力を致します」——「何卒よろしく御願ひ申します」特に歸り際に臨んでは、二度乃至三度丁寧に頭を下げ、物靜かに引き下がる事を忘れてはならぬ。

尙體格検査、精神查證の如き就職戦上では非常に貴重なものになつてゐるが、これは初心の諸君達にはさし當つて専門的研究はいらぬが、小中學程度の諸君に適用される、精神查證即ちメンタル、テストと言ふものに就いて、以下附録として少しく概要を述べる。

前  
編  
附  
録

解剖したメンタル・テストの正態

- 1、發生までの経緯
- 2、真正なる解釋
- 3、種類と其の應用法

- 4、部門的責任叙述
- 5、テストの實例數題

— 失敗と成功 —

凡そ適正な人間を選ぶと言ふ事に就いては從來から行はれてゐた、一、身體検査、二、學力試験、三、口頭試験の三項目で大體用を辨じたものである。

即ち小學から中學、中學から高等學校乃至大學豫科、更に大學、専門學校等の上級の學校に入學する場合、大學を出て知名な、銀行、會社、商店、諸官廳其他に就職せんとする場合でも以上の三つで先づ充分とされたものであつた。

それは既にして志願書(願書)に據つて、本人の決心が明かになつて居り、履歴書に據つて、學歴なり業歴が明かになつてゐる外、此の履歴書を致細に點検すると出身地、家族關係、職業關係、現在の環境等が知悉される外、生年月日や筆績等を少々専門的に研討すれば、其の本人の性格さへも現はれる筈である。

而も一方體格検査（就學の場合先、就職の場合は後の違ひはある）に據つて、其の本人の身長、體重、胸長、四肢、視覚、聽覺、臭覺、齒牙等の上に及び、身體の強弱と疾病の有無を明確にされる外、就職の場合で豫備をパスしたものは、更に健康診断と稱して、胃腸、心臟、肺臓、の内機關の一切を査定する外、特に肺結核、傳染病、遺傳病、皮膚病、性病まで致細に診断されねばならぬ、之れだけでもかなりに穿つた銚衡が出来るにも拘らず、更に其の本人に直接して學術試験（筆記）もやる、口術試験（口述）もやるのであるから到り盡されてゐる筈、尤も之れは多數の應募者であり、百名より採用されない處に、一千名以上も應募者があると言ふ場合には、何うしても九百人は犠牲にせねばならぬからやむを得ない事でもある。

此の學術試験は諸君等の熟知してゐる處であるから、敢て説明を要しないであらうが、後者の口頭試験に就いては少しく解説せねばならぬ。

此の口頭即ち口述の試験は、就學の場合と就職の場合と少しく違つてゐるもので、後に述べるメンタル、テストも同様試験の一種ではあるが、やはり就學の場合と就職の場合とは多少違つてゐる、これを簡単に言ふと、就學の場合の口頭試験は學校に關連したもので學識を検證する

のが目的であり、就職の場合の口頭試験は社會に關連したもので、常識を検査するのが目的である、従つて今日のメンタル、テストが未だ叫ばれない以前、三井、三菱、安田、住友、古河其他知名の銀行、會社、商店で行つて來た口頭試験と言ふのは、殆ど社會常識とか本人の精神心理状態の一斑を査證するもので、現在のメンタル、テストと殆ど變らなかつた、以上の様な次第でとにかく兩者は就學と就職の目的に従つて、多數の中から一定数の人物だけをよりあげる爲めに、體格検査と學術試験と口述試験を並び行つて來たもので、此の三つがあれば敢て今日爰で稱するメンタル、テストと言つたものは必要ではないのである。

處が最近になつて、此のメンタルリストは、就學者の爲めにも頗る必要となつて、新にこれを追加される様になり、就職者の爲めにはより以上必要なものとなつて、小學、中學、大學出の就職者にも夫々應分のメンタル、テストが課せられる事になつた、而もそれが教育者の負荷する新しい責任となつて、小學校から中學校へ進む場合には、受持教員と校長の認定した精神考査證を一枚添付する、又小中學生が就職せんとする場合にも求人者が望めば成績證明の外に此の精神考査證が添付されるやうになり、更に就學なり就職の實際試験場に臨んで、再び試験



官なり銓衡員なりによつて生々しい現然の事實として、もう一度此のメンタル、リストをされる事になつたのである。

斯く言ふと頗る世の中は複雑化され、小面倒になつたやうであるが、其の實際即ち人物の銓衡法は簡單になつたのである。

と言ふのは従來の履歴書とか成績證明とか學術試験とか、或は紹介状とか身元保證等と云ふ型の極つたもの、上には、非常に緩やかな手心が加へられ、而も此の新しいメンタル・テストは其の實至極簡單で、平凡なものであるからである。

然らば何が故に斯うした事が必要になつたかと言ふと、其の最大な原因は學校教育が漸次職業教育の上に轉化されて來た事である。

即ち學問は學問をする爲めの學問でもなければ、學者になる爲めの學問でなくなつた。

つまり學問は後日適當な職業に就くと言ふのが目的で、言はゞ其の手段の一つとなつたから、  
 學問は學問であつて、生きた人、實際的人、社會的人、職業的人として、教育上の手心を新にしなければならなくなつたからで、もしも學者とか専門家の如く、一人一職をトコトン

迄で要求する場合、もつと極端に言ふならば、究極して物體化されるか機械化された程の一事一藝を要望される場合は必要はない、例へばスポーツマンとしての水泳の選手、マラソンの選手、幅跳三段跳の選手等で、眞にそれが國實の價値のある人であれば、其の人は其の特徴だけを守つて呉れ、ばい、後は何にも知らなくても、社會はそれだけの事で此の人を何處までも育て、呉れる。

であるから兩親を失ひ身寄りをなくした日本の某女流水泳選手は、たゞそれだけの一技で母校の校長が引取り一生を世話してゐる、又アメリカでは手も足もないが、水泳の名選手將に奇蹟であるが、之れは某映畫會社が一生を世話すると言ふのであるが斯る例證は限りがない又某博士は其の研究の爲めに社會の一切を忘れ、五ヶ年の間に戦争のあつた事さへ知らなかつたと言ふ極端な話もあり、又ダーキンが「蚯蚓の考察」なる著述を完成するに四十一年、ベルトが「磁石に就いて」を著述するに三十一年、瀧澤馬琴が「南總里見八犬傳」の著述に二十七ヶ年、其の他十五ヶ年、二十ヶ年の記録や、發明其の他に到つては限りがないが、斯うした徹底した部門に入ると、一つの仕事なり特徴なりに不變性、不動性が望まれるし、他に同様

の競争者がないから、學術も口述も、テストも何もないわけである。

極端な話だが柔道や擊劍の達人、それだけで國寶の價値あれば、智見が博からうが狭からうが努力家であらうがなからうが、勤勉であらうがなからうが敢て問はない、大學等でスポーツマンには、卒業試験の除外例まで設けてある程で、其の人の特技だけに望みをかけ、その不変性や不動性を念願してゐる事が斯くも明白にされてゐる。

けれどもこれから就職しやうとする人、未だ就職の経験ない諸君が、之れから就職しやうと言ふ場合には、到底そうした事は許されない、出來得る限りの伸展性、融通性がなければならぬから、何うしても此のメンタル、リストは必要なものとなる。

處で此のメンタル、リストが以上の如く重視されるに到つた事に就いては、まだく多くの理由がある筈である。

以下今少しく爰に筆者の卑見を加へやう、即ち失業洪水と言ふ位であるから、就職者の多い事は當然であるが、又翻へつて考へると前にも述べた通り受僱||受雇言を代へれば受雇||受僱であるから、就學者の多くなつてゆく事も當然であれば、同時に學問教養あるものも多くなつ

て居り、一度の就職で失敗したものは、二度三度と運動をつゞけてゆくから、所謂「就職戦術」とか「就職のコツ」と言つたものも旨くなつてゆく筈である。

其處でこれを求人者、採用者、銓衡者の側からすると、從來の如き志願書、履歴書、紹介狀、推薦狀、身元保證等の、型のはまつたものでは銓衡が容易でなくなる。例へば一百名を採用しやうと言ふのに一千名も應募者があり、此の中三百名までが互格の人物であつたとする。また假りに學術試験なり口術試験なりを行つてふるいにかけたとしても、百五十名だけはやはり互格で、此の中から百名だけをとつて五十名を捨てるには、それこそ抽籤でもしなければならぬ事になる。

又もう一つの見方からすると、應募者が漸次加増して來ると、從來一人の銓衡(面接して口述を徴する等)に三十分位は差支へなかつたものが、十五分となり十分となる様に切り詰められて來る事は、スピード時代の現狀に照らしてこれまた當然である。

然しいくら銓衡に審重慎議の時間を許さないからと言つて、これをいゝくら加減にし、五分か十分間の面接に據つて果して彼れ氏の印象、即ち風采—言語—動作—舉動—性格—思想—感

情—知見—想識—等々が疎漏なく知る事が出来るか何うか、これは大なる疑問である。

人間は永い間交き合つて見て、始めて其の人間の長所や短所が分るものであり、つれ添つた女房でさへも、一年や二年は其の短所をかくし事が出来、三四年の後に別れ話が出る位であるから、例ひ如何なる偉い試験官でも銓衡員でも、よし又五人や十人の人が立ち合つた處で、人間一匹、人生一代の眞價を五分間か十分間に斷定する事は至極危険である。

況んや人間の能力等は常に一定してゐるものでなく、例ひ學序を踏んでも、修練なきものでも、不斷の變化がある。

氣候の關係—家庭の關係—健康の關係—等々様々の内的作用があるから、機械が動力によつて動くやうに、何時でも同じ能率を擧げる事は出来ない、であるから十年も二十年も研究して一物も得なかつたものが、僅か五分間で發明の動機を拓く事もある、カントが軍隊生活の間にあの哲學の形態を發見し、ニュートンが林檎の落ちるのを見て引力を發見し、ワットが鐵瓶の煮へ返るのを見て蒸氣を發見し、エチソンが針で自分の手を傷つけたのから蓄音器を發見した等であり、又オリンピックの競技等の如く、平素の實力前回の世界記録、豫選の成績が如何に

よくても當日の最終一秒時の決勝で敗れる事もある。

もとよりこれは遇然の機會でなく、平素の準備と努力に據るが、而も平素の永い準備と努力が、斯る一瞬時に於いて酬えられるか酬えられぬか、成功するか失敗するかとなると、恐らく此の場合は運命と言はざるを得ない。

就職の場合に於ても同様、万端の準備を施し、十全の自信を固めた、筈であつたにも拘らず最後の二三分で遂に不採用となつたり、十人の目指す處一人は甲一人は丙なるにも拘らず、此の就職試験には甲がドロップで、丙がパス等と言ふ事が随分にある、世の中には幸運兒と時を得なかつた不遇の人とは、隣り合せて暮してゐるとは全く穿つた言葉である。

其處で以上の様な不合理を幾分でも除く方法がないかと言ふので、色々考へた結果案出されたのが、即ちメンタル、リストである。

これは前にも述べてあるが、科學的に案出された有機物で、字義の解釋と活用の如何に據る事は論なき處である、其の解釋は内的の査證で、精神考查、心理考查、性能考查、感情考查、器能考查等々多方面に分れるが、心境の變化を察知するもので、巷間常識考查と言つて居るが

此の解釋は不動性のものであるから正しいものでない、人間の能力は前申す通り時々刻々變化してゐるものであるから、此の變化を汲んで、大いに性情を酌量するのが、今日の新しいリストである。従つて常識を脱する事でもパスする場合が澤山ある、以下實例に據つて詳細説明を加へるが泣くもよし、笑ふもよし、悲しむもよし、怒るもよし、白を黒とし、赤を青としても、必ずしもテストに落第とは言へない。

従つて學術試験、口頭試験の部門に落第しても、常識考査、禮儀作法の定例に除れても、時の變化に應じた餘儀ない行き處であれば、万事はテストの級第である。

扱て愈々此のメンタル、テストの、正態を解剖する段になつたが、これには理論的のものと實際的の二種があり、其の方法が全く違つてゐる事を最初に銘記して貰ふ。

理論的のものは特殊のものに限られ、實際的のものは向後到る處で採用されるものであるが、順序として理論的のものから述べる。これの代表的なものは、カード表と言つた記録の方法に據るもので(A)と(B)の二枚のカードから出來てゐる。

#### (A) 銓衡審査カード

これには採用員なり銓衡員なりが、何うしても二人以上必要なもので、一人の採用員が色々と應募者と會話を交へてゐると、他の採用員が此の間の様子を黙つて聞いてゐて、觀察した處を記入してゆくのである。

此のカードには豫め履歷書に據つて應募者の姓名、生年月日、原籍、現住所等が轉記されてあるが、残された記入欄の要項を擧げると身分調査欄と、人物考査欄と大別され、身分調査欄には更に父母—兄弟—配偶—子女—其他生活狀態—特殊技能—從來の勤務先—勤務年月日—給料等を、簡単に記入される様に細別されてある。

これは採用員が質問してゐ間に、他の銓衡員が記入してゆくが、もう一つの人物考査欄は更に外的特徴と内的特徴の二欄に大別され、外的特徴の欄には顔色—皮膚—筋肉—言語—動作—概評の小欄があり、内的特徴の欄は、智能—情操—意志—常識—注意—態度—概評の小欄があり、何れも得點數をつけられる様になつてゐる、これは至極簡單なものであるから、十分か十五分間對談してゐる間に、此のカードの記録は出來て了ふ。

#### (B) 銓衡審査カード

これは身體検査欄と精神検査欄の二つに大別され、身體検査欄には、身長—體重—胸圍—内臟（以上體格）次に眼—耳—鼻—齒—四肢—呼吸器—既往症—現在病—榮養—發育—其他（以上健康）となつてゐて、専門醫が色々な醫學上の機械器具と専門的な診斷法に據つて査定するもので二十分位を要する又精神検査欄は記憶—注意—構成置換—持続性—手指速度—手足統制—運動適確—反應運動—聽覺—錯覺—模倣—思考—理解—觀察—其他に分れ、何れも得點數がつけられるやうになつてゐる、これは或る特殊の機械器具と方法に據るもので、三十分位はかかるのであるが、此の（A）と（B）の二枚のカードを對比して、其の本人の全考察をなすもので、科學的メンタルテストの代表的なものとなつてゐる、これは査定する方から言つても相當の時間と努力と智能を要するものであり體格、健康、家庭、器能、學歷、性能等と切り離されないものであるから、小學、中學、大學等の各學校ですると特別な時間も努力も要らないので、現在では各學校で此の方法を採用し、必要に応じて何時でも此のメンタルテストの精査表が作られるやうになつてゐる、これは就學にも就職にも通用される全般的のものであるが、此の外に職業専門の科學的審査カードもあるが、諸君の場合にはまだ必要を認められないし、頭腦を徒

らに繁雜錯綜せしめてもいけないから省略し、精神考査と言ふ聽きなれない部門の方法について二、三の簡単な例を挙げる、これは掛圖とか物體とか色彩とか音響を提示して、どんな色であるかとか、どんな音がしたとか、此の音はいくつの音色が入つてゐるかと言つた様なもので迷圖—點線—錯覺—立體的の積數—數字の手引—素描畫等色々ある、此の素描畫等も中々面白いもので、簡単な素描畫を提示し之れによつて一つの文章を作れと言ふ、至極簡單五、六行で書けると思つたら大變、時節が春か夏かそれは繪の中の雲に注意樹木に注意する、日本か西洋か之れは建造物に注意せねばならぬ、更に午前か午後かそれは時計に注意せねばならぬ、それからそれと繪の細小部分を辿つてゆくと大變な文章になる、これは心理的考査試験の一つで、大阪朝日、大阪毎日等の記者試験に採用されて非常な効果を齎してゐる。

次は實際的のメンタルテストである。之れは證衡なり採用員なりに問はれる事を簡單に答へればよい、ホンの五分か十分間の會話ではあるが、口術試験とも常識試験ともつかない、従つて何を問はれる事やら見當つかず、準備とか用意等は當然出来ない。

そればかりか常識試験ではなく、何かの轉機、異變、突發、偶然と言つた機會を作つたり、

或は失策なり脱線なりする様な方法を探るのであるから、應募者の周章狼狽する事が多く知らず知らず採用員の術策にかゝつて了ふ。

然しかゝつてもいゝ間違つてもいゝ此の場合の採用員は其の間に於いて應募者の偽らぬ人間性を見出し了ふ、それが此のテストの目的なのである。

従つて實際知らなかつたならば知らぬでもよく、馬鹿氣た事だと思つたら、馬鹿氣た事だと卒直に言ふ、少しでも技巧を弄したら失敗となる。

以下口釋抜きで失敗と成功の實例を二、三擧げて此の間の消息を語らう。

附||精神考査—心理考査—感情考査—器能考査等に分別してないが、讀者はどれがどれに該當してゐるか判斷して貰ひ度い。

例題(1)||或る中學卒業の就職者に、採用員の一人が「英語は御自信を持つてゐますか」就職者「は大抵のリーダーは読み盡しました、會話は特に自信を持つて居ります」との答へ、其處で其の採用員の前に在る電鈴のポツチを軽く押した、ドアを排して入つて來たのは一人の外人、就職者は少からず當惑した「How do you do? How old are you?」まではよかつたが

それから後は全くゼロ、其の就職者は見事ドロップとなりアウトとなつた。

例題(2)||「君は何故こんな小さな店を望んで來たのです。」「私は斯うした商賣に興味を持つて居りましたし、此の商賣なら自信も持つて居ります、殊に此の商賣の將來は……」之れも見事にアウトである、何故かそれは諸君に考へて貰ふ、之れに對するもう一つの答「就職難の今日、まして私等は貧乏な家のもので、一日も早く職に就かねばなりません、何處がいゝの悪いのと言つて居れません」これは見事にセーフとなつた、之れはトリックか偶然か、恐らくみんなが此の答へを眞似たら、みんながドロップする、それが何うして此の場合セーフになつたか、やはり諸君に判斷して貰ふ。

例題(3)||「君は酒を飲みますか、煙草はやりますか、女はいかゞですか」と言つた質問である、此の就職者は温厚篤實、然し頭腦明晰で、萬事テキパキしてゐる人である「酒は飲みませんが、煙草もやりません——」までは中々元氣がよかつた、扱て女となつて一言の返答に窮し顔を赤くして遂に黙してしまつた、其の態度が如何にも自然で且つ純眞にとられた、其處でこれも亦見事セーフとなつた。

例題(4) 〓「君はカンニングをした事がありますか」——「はい、たつた一度あります、中學三年の時、東洋史の試験の時でした」——「其の時君には良心がなかつたのですか」其の時は兩親があつたのですが、一昨年父親の方が亡くなりました」此の回答にさすがの採用員もふき出した、其の就職者も些か喰つて顔を眞赤にした、非常識か感違ひか、之れは某會社の採用試験で立會人は數人、異常に緊張してゐたが、此の爲め試験場の空氣は極めて和かになつた、結局此の應募者は正直であり、勇氣があると言ふので見事採用となつた。

例題(5) 〓之れは某會社で社員を募集した、應募者の一人某は、どうも昨今の失業状態では中々安心が出来ない、募集に應じて試験を受けては見たが氣が氣でない、幸ひ其の會社の某課長は、多少の知己である事が知れたので、菓子折か何かの贈物をして置いて、一兩日過ぎてから其の課長を訪ねて懇々と頼み込んだ、處が其の課長は半氣の毒のやうな半冷笑的な面持でもうもお氣の毒だが、君は不採用といふ事に極つてゐますとの事、某氏は大いに悲觀してその儘歸らうとした、處が其の課長は「先日の送り届けのもの、あれは御返しする處だが、折角の御厚意であり、お氣持を悪くされても氣の毒ですから、私がお買ひ取りする事にしませう」との話、

其處で應募者の某氏「いや、それには及びません」とでも言ふかと思つたら、「さ様ですか、私も貧乏人ですから、さやうお願い致しませう、そうすると、品物代が四圓五十錢、包み紙代が三錢、郵送料が十二錢、合計四圓六十五錢となりますから、それだけ頂戴致します。」と出たので、こゝで天下の形勢は一變したと言ふのはその課長は「いや、一寸御待ちなさい、君が採用になれるやうに、僕から今一應盡力して見ませう」と來た、某氏は地獄で佛、閻魔一轉佛となつた思ひで「では何分よろしく御願ひ致します」と言つて、其の日は辭し歸つたが、其の課長某氏は其の會社でも有力な立場にゐた人であつたから、數日後、應募者彼れ氏の許には、極めて目出度い吉報が舞ひ込んだと言ふのである。

これは彼氏の用意周到なる事と几帳面であつた事と、一度は情實にも訴へ様としたが、斷られてから後深く決心する處あつて理智を發揮した事、而も計算は簡單でも、當意即妙の算定が鮮かだ、其の會社には特に適當と見込まれたからで、此の意外の出來事があつたばかりに、リストでは寧ろ前人の記録を破る事となつたからである。

例題(6) 〓以上は一問一答、會話に據るテストであるが、一寸附記して置く事は、五人も六人

も（尤もこれは大銀行、大會社、大商店等）の、ほんとうの職業戦線、主として大學出の人を採用する場合で、之れ等の詮衡員が、交互に奇問を發して採點する、然り奇問であるから勢ひ珍答が出る、之れが其の實此のテストの目的となつてゐて、詮衡員は社長、重役でも、やり方は刑事の尋問と同様、上げたり下げたり、なだめたり、おどかしたり、馬鹿にしたり、お茶らけたりするので、前記の例よりも一層嚴重な仕方なのである。

試験官「君の道樂はなんですか？」

應募者「はい、芝居です」

試験官「ふふん、芝居か？ では役者は誰れが好きかね」

應募者「いゝえ、まだそんなに深入りはして居りません」

試験官「では、立見つていふ奴だね、はつはつはつ」「君は見た處が、どうも女性的だね」

應募者「はい、さうした處があるかも知れません」

試験官「此の商賣は向きそうもないよ」

と言つたものだが、これは何も絶望ではないだん／＼其の人間のメツキをはがし、思想や感情

の動きを見る一つの手で、刑事が犯人のドロを吐かせるのと同様の手である。

これも限らない程例が擧げられるが、以上の一例にとどめて置く。

例題(7) 〓これは會話に據るテストでなく一舉手一投足の動作、其他に據るもので、随分思ひ切つた事がなされ、課長以上の試験官がする決勝のテストである、之れも二三の例にとどめて置く、豫め新聞雑誌の如きともすると手のつけたいものを一室に用意して置き、今直ぐ重役が面會しますと言つて十五分も二十分も待たせて其の間の動靜を探る、又重役と愈々對談する開口一番「君は煙草をやるかね」「はい少しは……」「じやまあ一服やつて氣を落ちつけ給へ」色々細かい事等も聞かねばならぬから」と言つて先づ自身が一本出してブカリ「さあつけ給いとマツチを出す、重役が斯う無理強ひにするからやむなく應募者もポケットから出す「さあつけ給へ、まあいゝよ遠慮はないよ」と言つて點火する、此の間に於ける受験者の舉動、ふるへる指先を、變に歪んだ顔付で靜かに觀察する、洵に薄氣味の悪いものである、又不意の闖入者をこしらへ、此の嚴正な試験室に於て、緊急突發的な會談をさせたり、給仕に何かの用を命じて、異常な疎忽をさせ、此の間に受験者のとる態度其他を検證する、何れも高級な採用試験で



最後のリストであるから、斯うした経験を持つてゐるものは極めて少く、勿論想像等のゆく處ではない、報知新聞社でやつたテストの一つには、此の試験中に壯漢を闖入させて時の編輯局長(試験官)に危害を加へやうとしたトリックまであつた。

以上の例に據つても、此のテストは必ずしも一問一答に、要領の得た答、適正な答をしていよとは言へないし思ひがけぬ様々の直接行動のある事も知れやう、これは學術的な口頭試験でもない、問はれる事は至極平凡、誰れでも知り盡された事であり、況んや學術的事になつたら詮衡する者よりも詮衡されるものが、もつとよく知つてゐる事が多いかも知れぬ、此の時に待つてゐました、自分の知見を知らせるのは此の時とばかりに天晴天才的態度を取る事は大の禁物、と言つて堅くなり過ぎたり、おづくしたり、きよろくしたり、少しも落ち付かぬ様でも駄目である、又色々の豫期せぬ事件の襲來も同様だが、凡ては虚心坦懐偽らず飾らず、人間其の儘を神前に捧げる、如何なる事件、如何なる變化に合ふも、空手空拳、裸のまゝで善處する自然の静けさ、人世の安らかさを持ち、沈着、勇氣、果斷であり、而も人間性、人間味の極致を展開される、其の言語、其の動作、其の感情、蓋し實際的メンタル・テストとして、

百パーセントの價值あるものはこれ以上ないのである。

これ等の例でメンタル・テストの正態は、略解剖し盡されてゐるが、今少しく説明を補足するならば、今日の官廳、銀行、會社、工場、商店等に於いて、適正な人間を採用すると言ふ事は、決して英雄や豪傑、天才や秀才等の如き、とび離れた偉い人間を選ぶ事ではない。

第一が身體が健康で精神が健全、常識が圓滿に發達してゐると共に、學術技藝と言つたものも一通り揃つてゐて、人並の事は出来る、従つて其餘の要求は後日採用の上、少しく其の求人者側の實務に符節した、職業教育を施せば、大體に於いてスル／＼伸びてゆける人であれば充分なわけである。

故に以上の試験は、從來の身體検査、健康診断、學術試験、口術試験の如きで充分用を辨ずるのであるが、これ以外の心理、感情、等の性能は、斯る型にはまつたものでは發見されない而も此の後者の要求は、職業上に於いては極めて主要な役割を演ずるものである處から、眞の裸な人間として、此の人間が色々な變化に遭遇した場合、よく臨機應變の處置をとつてゆけるかと言つた、人間度胸？を試すのが眞の目的ではないかと思はれる。

## 後編 就職の實際手引

一〇六

### 第一章 通勤に據る就職

愈々諸君が準備と決心がつかれ、爰に其の實現の第一歩を踏む事になつ理由であるが、特に一言注意して置き度い事は、前編に於ける總體的且つ抽象的の理論と、此の後編に述べる部分的且つ具體的の實際は、自ら相違するものもあるが、物の表裏、物の順序で致方がないのであつて、前編に教へられた處と後編の實際とは再び参照し合つて、之れを巧みに消化し血とし肉としなければ何もならない。

例へば前編では小中學の基礎教育だけで、直ちに就職出来ると思つてゐたものが、後編に及んで若干専門的な職業教育を施さねばならぬものも出来てゐる。然し勿論これとても獨立した本職ではなく小中學だけで結構なもので、それにほんの少しは

かり箔をつけたのは、此の僅かな差違で其の就職が非常に變つたものが出来るからで、其處は諸君の常識判断に訴へて貰はねばならぬ。

即ち僅か三ヶ月か六ヶ月の職業教育を施したものと、そうでないものとで非常な差違が出来て来る、然しそれすらも餘裕がなかつたらば、やむを得ないから給仕でも普通事務員でも構はず、一先づそれに就き、それから其の餘暇を選んで、此の職業教育を補足しても一向差支へはない、勿論後編の實際職業も、まだく澤山に例を挙げられるが、成るべく諸君が速急に就職されるもの、別に職業教育を補足しなくてもよいものと言つた考へから、斯く極限したわけでも諸君の眼光さへ紙背に透る事が出来れば、一例を聞いて類似の二、三も想像され得るのであるから、爰では敢て類似されるものゝ末節には言及しない事にした、例へば百貨店の場合でも其の全部の採用方法や待遇法を述べなくても、一、二の代表的なものを述べ、後は略之れに似通つたものであると言へば、それで他の百貨店も想像がつくからであり、會社や銀行も其の通り、一、二を述べれば他は想像がつくからである。

## 通信事務員

一〇八

小中學卒業程度で志望される、専門的な職業で、現在の實力を基調として考へると、これ程智能的で進歩的なものは少い。

仕事の性質Ⅱ之れは電信、電話、郵便、爲替、貯金、保険等の専門事務を取扱ふものである。従つて別に半歳又は一ケ年位、指定された職業教育を受けねばならぬが、然しこれは官費の便法に據り、右の短期間中に、最も組織的且つ総合的に、學問と實地を教へて貰ふのであり、而も此の間に給料までも貰はれるのであるから、直ちに就職出来るものと殆ど同様である。

就職の方法Ⅱ年に一回乃至二回、土地の一二等郵便局に於いて募集するから、規則書や心得書を貰つて詳細は其處で問合せること。

これは或る規定の試験を経た後、通信講習所と言ふのに入つて教練を受けるのである。普通科と高等科に別れ、高等小學卒業生は、普通科、中學卒業生は高等科に入られる。何れも修業年限は一ケ年、入學の日から兩者共に日給八十錢内外の手當を受け、且つ修學に必要な書籍、器具、筆墨其他一切が支給され、又寄宿舎は一ケ月十五圓以内で賄つて呉れるから、小使が残る様になつてゐる。

勤務と収入Ⅱ卒業後は指定される電信、電話、郵便局等に就職する、勤務は一晝夜交替だが正味は十時間位、初任給は三十圓から三十五圓、普通も高等も大差はない、事務員から判任官に進まれる別な方法も出来てゐる。

## 郵便局事務員

前者は組織的な職業教育と職業技術を教へられるが、此の方は郵便、小包、爲替等の簡単な事務を取扱ふもの故、資格は低く前者の甲種に對し乙種となる。

仕事の性質Ⅱ甲種の通信事務員は電信、電話の技術を克くする外、此の乙種事務員の凡ゆる部門の取扱調査、報告、其他を通信法規(法、規則、取扱規程)に従つてなすのであるが、此の

一〇九

乙種は甲種を補佐する程度で、多くは公衆の窓口に於いて一定の事務を取扱ふ。  
 就職の方法は資格は前者と同じく、小學でも中學でもよろしい、やはり募集に據るものだが不定であるから、履歴書と志願書を郵便局に差出し、郵便局勤務の知人に就職の斡旋をして貰ふのが一番によい、身體が强健で、筆績と珠算がよいと大體採用は間違ひない。  
 勤務と収入は午前八時から午後五時まで、正味八時間、中には晝夜交替の局もある、収入は小學卒業者は日給七十錢以上、中學卒業者は九十錢以上、漸次昇級もし又特別手当もある、是れ等の待遇法は、大體前記甲種通信事務員と大した違ひはない。

### 鐵道局の雇員

鐵道省、鐵道局等の鐵道關係に於いて採用する事務員級の雇員で、計算記帳、出札掛、小荷物掛、製圖、速記等々がある。  
 就職の方法は資格は學歷が高等小學卒業以上、年齢は滿十六歳以上となつてゐる。

紹介とか推薦又は志願に據るもので、志願の場合は鐵道局人事課へ、郵便で照會するか或は出頭して詳細を聞き合せ、之に據つて志願書と履歴書を出せば、簡単な試験で採用される。  
 勤務と収入は一般の諸官廳と大差はない、収入は内勤なれば高等小學卒業は日給八十錢以上、中學卒業以上は一圓以上、就職してから漸次昇級し、二ヶ年以上勤続して、成績良好であれば轉任官にもなれる、俸給の外に手当、賞與、恩給、退職金等もある。

### 少年車掌

郊外乗合自動車、私設電鐵、東京市電等で隨時募集してゐる。  
 就職の資格は尋常高等卒業程度で、身體の强健なもの、金錢の計算が出来、言語が明瞭であればよいわけである。  
 然し何分にも客に接する仕事であるから、實際の場合では、容貌の醜からぬもの、親切と愛嬌のあるもの、確實な身元保證のあるもの等が特に重きをなしてゐる。

就職の方法 隨時に募集されるが、やはり手藝を求めて就職の斡旋を頼むか、又は直接志願の方法に依り、志願書、履歴書を出して措き、随時照會して運動をする事である。

勤務と収入 勤務は交替制が最も多く、官私其他乗物の性質で多少異なるが、大體に於いて朝七時から夜十一時までの間に、甲乙二組が交替するもので、正味八時間、初任給は日給八十錢から一圓まで、此の外に歩合とか居残料を合計して、月收五六十圓にはなる。

その外年二回の賞與もあり、作業服は凡て貸與され、成績の好い人は職員、監督等にもなれる、純労働の部類に屬するが、収入は最高位を占めてゐる。

### 少年製圖手

最近の需要であつて、逓信省、鐵道省、内務省、宮内省（林野局）東京府、東京市役所、土木建築請負業、知名の銀行、會社、商店、工場等に於いて随時採用してゐる。

就職の資格 尋常高等、中學卒業程度で結構であるが、専門の職業領域に入るので、中央工學校、工手學校等の製圖科（無試験入學）に入つて、六ヶ月乃至一ヶ年の教練を受けるか又は個人教師、製圖技師に就いてもよい。

就職の方法 別段職制もなければ規定もない、單なる雇の名義で採用されるものであるからやはり手藝を求めて就職の運動をする。履歴書と製作乃至参考品（自己の作ったもの）だけは提出されなければならぬ。

勤務と収入 初任給は日給で一圓二三十錢から三圓位までになる、平均して一圓五六十錢と言つた處で、年一、二回の昇給があり、處に據つては手當を出す處もあるが、とも角も大部分のものは職制のない臨時仕事と見ねばならぬ。

### 銀行事務員

最近漸次女子が此の領域に進出して來たので、男子はかなり困難になつて來たが官立から私立、中央から地方と多少目を轉ずれば、まだ男子の就職餘地は殘されてゐる。

就職資格 高等小學校卒業者と中學校卒業者と區別され、第一が容貌、第二が言語、第三が頭腦、特に筆蹟（ペン字）と珠算の出来る事が兩者共に要望される。

仕事の性質 仕事は主として、紙幣、公債、社債、證券の整理で、算盤とか記帳も、手傳はされる、数字的緻密さと、事務的忍耐が要る。

就職の方法 毎年四月に募集され、各學校長の推薦によるものを、試験の結果採用するもので、かなりの準備と努力が要る。

然し日銀、勸銀、興銀等何れも年々五十名から百名位まで採用して居り、而も高等小學校卒業者が一番歓迎されるのであるから、諸君等の如き職業未経験者には大の恩澤である。

勤務と収入 勤務は午前九時から午後五時まで、正味八時間勤務、給料は高等小學校卒業が補助員の名稱を附せられて日給制度、初給が一圓二十錢以上、晝食を給與され、三ヶ月に一度位の勤勉手当があり、年に二、三回の昇給で、一回の昇給は五錢から十錢までである。

中學校卒業者は月俸で初任給三十二三圓、漸次昇給してゆく、矢張り晝食が給與される外、手当とか賞與がある。

### 會社事務員

元來専門的な職業ではないが、商業智識、算盤、簿記、等の事務的智識が要望されてゐるか  
らやはり準備と努力が必要となる。

就職の方法 事務の見習半年位、又は甲種でも乙種でもいゝから、少し位商業教育を受ける  
必要がある、そうした方が就職が樂であり、待遇も違へば昇給も早い。

高等小學校卒業生なら普通科へ無試験、中學校卒業生なら本科へ無試験で入られる、半歲か  
一年の修業で卒業しなくていゝのである。

勤務と収入 午前九時から午後五時まで、正味八時間、中には夜勤の必要ある處もある。  
収入は小學校卒業が日給で、六七十錢位、中學校卒業が同八九十錢、月給になつて、前者が三十

圓以上後者が三十五圓以上となり、商業學校本科出身者は初任給が三十五圓から四十圓で、五  
十圓以上には進まれる。

尙此の外半期末手當と配當等があるも省略する。

### 卸小賣の商店員

文化的な營業、大衆的な營業、つまり短時間の勤務で變化の少ないもの、例へばデパートとか大ビル内の通勤店員は、漸次女子の爲めに領域が狭められて来たが、變化の多い長時間の勤務を必要とするもの及卸方面の大部分は依然として男子の領域である。

就職の資格 第一身體強健、第二奮闘努力、第三が堅忍不拔、第四が勤儉節約、第五が言語明瞭、動作活潑、第六が筆績と珠算、第七が世辭愛嬌と言つたもので、別に學問とか技能等に一定規格の要求があるものではない。

就職の方法 新聞案内欄に據る募集、其他學校を通ずる求人、紹介所を通ずる求人、定時不定時の公示的大量募集等色々あるが、要するに自己の當りをつけた方面に、常時就職の運動をする、紹介もよし推薦もよし志願もよし、案内欄等で直接當るもよい。

勤務と収入 前記の如く此の方面の就職は通勤の大半を女子に奪はれてしまつたから、十中の八九までは住込みと覺悟せねばならぬ。而して朝は六時頃から十一時頃まで、これが小賣商、朝七時頃から夜七時頃までこれが卸商、とに角勤務時間の永い事はこれ以上に出るものはない、給料は衣食住の心配はないだけに手取りは極めて少額で、小學校卒業生が十圓から十五圓、中學卒業生が十五圓から二十五圓まで、昇給等と言ふ事は少く（小番、中番、大番の昇進あり）、盆、正月の仕着と上半期と下半期の配當と言つたものがある。

附 之れは住込の職業に述べるものだが、通勤にも通ずるので爰に掲載して置く

### 少年圖書館員

従來は至極範圍の狭いものであつたが、文化の進展と共に此の種の事業も漸次擴大されてゆく、たゞ一つの杞憂を残すものは、やはり將來は婦人の爲めに占據されるのではあるまいかと言ふ事であるが、然し日本としてはまだ男子の爲めに餘地を残してゐる。

就職の資格 尋常高等卒業又は中學卒業程度でいゝのであるが、これは補助員と稱するものであつて、本職になると文部省直轄の圖書館員養成所に入つて、専門的の職業教育を受けねばならぬ、これは凡て試験に據つて採用されるもので、資格は中學卒業程度、修業年限一ケ年、講義は東京音楽學校教室、實地の練習は帝國圖書館である。

勤務と収入 勤務時間は午前八時から午後五時まで、夜勤と宿直の交替制があるが、大體八時間で、小中學の補助員は初任給二十四五圓から三十圓まで、外に賞與と手當がつく、本職になると初任給が五十圓から六十圓、漸次昇格する事になつてゐる。

### 少年速記者

従來は非常に至難のものに思はれて來たが、現在では婦人から少年と、漸次下向を示して居り、而も其の修練はさして難事ではなく、上達の如きは寧ろ小中學が一番好適であるから、將來は益々此の方面の需要を加へるものと思はれる。

就職の資格 學力は高等小學校卒業、又は中學校卒業程度で差支へない、只専門的の領域に入るから、速記養成所、速記研究会とか言つたもの、或は個人教授でもいゝから、半年又は一ケ年位の教練を受けねばならぬ。

就職の方法 新聞社、雜誌社、通信社、各種の興信所、内閣統計局等々へ、人を通じて問合せをなすか、直接志願の運動をなすもので、事務員、記者見習、探訪、調査等々視野を廣くし兼業を覺悟で就職運動をすると案外解決が早い、時間は随時で規定なく、一時間いくらと言ふのもあり、又常備となれば初任給は四五十圓以上となる。

### 少年簿記計算士

細密な機械的な手先の勞作として、最近寧ろ若い小中學生の人が歡迎される様になつて來てゐる、勿論これからの新職業である。

就職の資格 高等小學校卒業程度で充分だが、之れも極少の職業教育が必要となる。



即ち大原簿記學校とか村田簿記學校に入つて約三ヶ月、又は七ヶ月位簿記の實際を學ばねばならぬ、個人教授でも差支へない。

就職の方法 銀行、會社、官廳、商店何れでも向くのであるが、諸君等の場合こうした短期の修練を以て、直ちに一本立の職業と解し、一方的な賣込み運動をしてはならぬ。

やはり始めは給仕でも事務員でも、容易な方に血路を拓き、時を見計らつてから、自分は何れ何れの事が出来ませんが、此の方を少し御役に立て、貰へませんかと出るのが賢明である。

勤務と収入 臨時と常備とあり、時間は不定、小學校卒業生が三十圓から三十五圓位、中學卒業生が三十五圓から四十五圓位までと考へてよい。

### 新聞雑誌の見習記者

理想から言へば大學を出たり、語學を専攻したり、努めて豊富な知見や想像が必要だが、然し今日の記者は非常に分業的となり、論說、評論、政治、經濟、商工、科學等の高級な方面と

社會の裏面探訪の外は、少しく敏活な働きと、鋭敏な觀察力とあれば、大體の人には勤まる、殊に公示廣告即ち官報等に掲載されるものや、相場表、物價表、見積購買の入札、工事豫報、入札結果、等々の如きは、中小學生諸君で充分間に合ふのである。

就職の資格 高等小學校卒業、中學卒業等で充分で、たと前記の如く敏活な働きと、鋭敏な觀察と、豊富な常識が必要、筆績は比較的良好で速いと言ふのであれば申分がない。

就職の方法 新聞社、雜誌社、通信社、出版社、そうした方面に知己を求め、克く其の仕事の實際を知り、自己の力と併せて決心を固める、決心が出来たら右の何れでもいゝから使つて貰ふ事、給仕でもよし、事務員でもよし、見習記者一層よし、とに角其の職業部門に飛び込み其の後適當な機會を捕へてから自己の所信を披瀝し、記者として勤ける方に廻して貰ふ事で、これが諸君には一番確か方法である。

勤務と収入 勤務は其の社によつて一定してゐない、官廳の様に規律的のものもあれば、個人以上に不規律なものもある、収入は本職の記者は、初任給二十五圓から三十五圓、漸次昇格して五六十圓(凡て初任給の意味)までは進まれる。

### 百貨店の小役員

三越、白木、松屋、松坂屋、高島屋、大丸、美松、伊勢丹、ほていや其他店々に據つて夫々異つた店則があるが、爰では全般的の大體標準を述べて、記憶に便ならしめる事にした。(後編附録を参照)

就職の資格 高等小學校卒業と中學卒業程度のもので、試験の結果で採否が極まる、共通的な要求は、第一が容貌、第二が言語、第三が動作、第四が頭腦、第五が性能である。

就職の方法 毎年四月各小中學校を通じて求人申込をしてゐるから、學校長か受持教員の推薦を願つて試験に應ずる事である。

勤務と收入 勤務は午前八時から午後五時まで、夜間營業の場合は別、大體八時間制度で、給料は左の如くである。

三越呉服店 高等小學校卒業は初任給日給で九十錢、中學校卒業は同一圓四十錢、高等小學校

出身者が滿十七歳に達せば、凡て店員に昇格し日給一圓二十錢となる、中學校卒業者は二ヶ月見習、三ヶ月目から店員となり、月給四十五圓以上となる、尙年一回本給の一割程度昇給し、又成績優秀なる者は臨時昇給し、賞與は、本俸に出勤日數を乗じ、其高に六ヶ月間の出勤日數を乗じたる積數を普通賞與とす。

又純益金中より株主配當金を控除した殘高を勤務成績に應じ、最高本俸の四ヶ月分より適宜賞與として分配す。

月二回を公休とし、半期皆勤者には六日分を賜暇休暇とす、正月三日間は休業。

店員が店より購買する時は定價の一割引、但しマーケットは五分引、食事は一般店員の爲食堂を設け朝食十二錢、晝食二十錢の食事給與をなす。

白木屋 高小卒業日給九十錢以上、中學卒業以上一圓三十錢以上。

松坂屋 高小卒業日給九十錢以上、中學卒業一圓三十錢以上。

昇給、賞與、休暇、特典、食事其他何れも大同小異のものである。

## 第二章 住込みに據る就職

之れも一つ一つを列挙すると際限がないから、成るべく類似したものは省略して、一般的で代表的なものだけを掲げる事にした。

例へば同じ住込の職業と言つても、智能的なものもあれば、技術的なものもあり、熟練的、純技術的、勞務的なものと色々あり、又これ等の幾つかを加味された職業もある。

更に此の住込みで最も多いのは、店員と徒弟の二つであるが、店員と言つても呉服店、化粧品店、食糧品店、文房具店、洋品雜貨店等々際限がなく何れも多少の相違点あり、又徒弟の方も製造あり、加工あり、組立あり、修繕あり、仕上げあり、機械器具の技術的製造から、製箱製本の如き熟練的や手藝的な製造洗濯染物等の加工から、オートバイや自轉車の如き組立修繕備物や玩具等の仕上げ、等々であるが、凡て類似したものは努めて除ける方針をとつてゐるから、以下はこれを基準に正しい想像を加へて貰ふ。

## 小賣商店の中小店員

これは各其の異つた商賣のコツを知つて、後日自身が獨立で此の商賣をやらうと言ふ時に多くの意義をなすもので、住込のものとしては最も多くの需要を持つてゐる。

仕事の性質 第一は販賣してゐる品物の原價と品名を頭に入れ、第二は販賣値段と品物の得失を知り、第三にはこれを賣り捌く方法を知る、つまり客に好感を與へ、上手に説明して購買心をそゝらせ、尙其の店の得意となつて何時も來て貰はれる様にする。

仕事としては店の掃除、商品の手入れ、商品の陳列、棚ざらひ等で販賣値段の變動を知り、損をしないやうに賣ると言つた、接客上の技巧が仕事の重心をなしてゐる。

就職の資格 尋常でも高等小學でもよし、身體強健、言語明瞭、動作活潑、世辭愛嬌よく、又人を見て法を説くと言ふか、客の心理を解し、轉機を巧みに捕へる修練が必要である。

就職の方法 新聞案内欄等の募集又は關係業者の知己を得て、就職を斡旋して貰ふ、履歴書

と身元保證が必要である。

勤務と収入○ 商店員は他の職業に比べて割が悪い、と言ふのは現在に期待するものでなく、将来に期待するもので、其の商賣の實際を知り實際の修練を積む事が目的だからである、勤務時間は午前六、七時から午後十一、十二時まで、一日一杯の勤務は動かせず、収入は衣食先方持ちで、最低十圓から十五圓位まで、年二度の配當とか賞與もあるも、昇給等は殆どないものと考へねばならぬ。

月二回の公休と盆、正月の休暇は最も貴重な自由時間となつてゐる。

### 卸問屋の中小店員

小賣商と特に違ふ點は、小賣は素人を相手にするが、此の方は玄人が相手、小賣は少量な商品を取扱ふが此の方は大量の商品を取扱ふ、従つて勞働は前者以上に激烈だが、其の代り勤務時間が短く、待遇や昇進の途が多い。

仕事の性質○ 商品の種類と品名を知り、其の量質の判定や算定を極めて迅速、極めて正確に出来ねばならず、勞役人夫や倉方を常備してゐる店でも、自身が又多少の勞働をよくしなければならず、鐵道運賃、運送事務、發送事務、記帳算珠が上手でなければならぬ、又接客も玄人相手であるから、小賣商以上に洗練され熟練されてゐねばならぬ。

就職の資格○ 高等小學又は中等學校卒業程度、身體強健、身元確實、其他は小賣商の場合及右に記した事で充分である。

就職の方法○ 小賣商の場合と同様、だが然し卸商は體格検査、メンタル・テスト等の試験が小賣商以上に嚴重である事を承知せねばならぬ。

勤務と収入○ 午前七時から午後六時まで、正味十時間、例外的場合もある、収入は小賣商と大差はないが幾分よい、只此の方は漸次昇給するのと、利益配當とか、賞與とか退職手當とか言つたものが非常によく、又獨立等に就いては色々の恩典があつて、小賣商とは同日の論ではないが、それ丈に頭も身體も使はねばならぬ、公休其他は大體小賣商と變らない。

### 製造所の住込職員

これは中以下の工場に多くある處で、通ひの熟練工が二三名居ると、七八名は此の住込みの職員を措き、製造所主又は古參の住込者が常時教練して呉れる。

仕事の性質は多種多様で一律に述べられないが、製造所であるから原料に、機械或は人爲の技術を以て、一つの商品を製作するものだと思つて、勿論専門的の職業ではあるが難用、手傳、分擔等で自然修得出来るやうになるものである。

就職の資格は尋常高等小學卒業程度身體が强健で技術的天分があれば申分ない、處に據つては技能や性能の試験をするものもあるが、而も簡單なもので済まされる。

就職の方法は募集か推薦に據る。

勤務と収入は午前七時から午後六時まで、夜勤其他は別もの、収入は五、六圓から十圓位中には湯銭位で無給のものもある、大體斯うした徒弟は、仕事を教へて貰ふ、技術を教へて貰ふのが

目的であるから、食はして呉れるだけでも有り難いと言へば言はれるであらう。

尤も純職工、又は職工となれば（労働組合法適用）二圓から四、五圓の日給が取れるし、退職時の積立金とか年期積立金とか、特別賞與等の便法もある。

### 辯護士の書生（名士其他に通用）

従來政治家、法律家、教育家等々智能方面で成功し度いと言ふ人は、我れ先きに競つて辯護士の書生を志願したのだが、昨今は餘り振はなくなつた。

然し夜學でも通つてもつと勉強し檢定試験を受けるとか、上級の學校へでも入學しやうと志してゐる人にはとつてつけの就職である、それは時間的の餘裕が極めて多く、仕事に智能や努力を盡す事少く一日中の獨學自習、夜間の勤學共に容易に出来るからである。

仕事の性質は俗に玄關番とか食客と言はれる様に、別にこれと言つた定つた仕事はない、會社の給仕よりは上、事務員と對立する様なもので、電話の聞き取り、來客の應接、要件の聞き

取り、簡易な代辯の役、文書の整理、調査の補佐等々である。

就職の資格 中學校卒業以上、身體强健、頭腦周密、言語明瞭、豊富な常識と機敏な活動力があれば申分はない。

就職の方法 名士の紹介が最も必要である

勤務と収入 午前八時から午後五時までである、衣食は向ふ持ちで、十五圓から二十五圓位まで支給されてゐる。

### 薬局薬剤師の助手

製藥會社、病院、醫院、治療所、薬局等で需要がある、代診の玉子か薬剤師の玉子となる人で、凡てを實地に練へてゆかうと言ふ人達の場合である。

仕事の性質 薬品の調劑が第一であつて常に緻密な才を望まれる、沈着、篤實、周到、知見、想像等々の性能が、其のまゝ仕事の上に反映してゆく。

就職の方法 斯業の關係者、なるべく有力な人の紹介に據るのが一番確かである。

勤務と収入 製藥會社、病院、治療所、商店、薬局等の營業時間に比例する、収入は日給で一圓以上一圓五六十錢、薬局では月給で十四五圓食費は先方持ちである。

附 薬剤師になるには試験を受けて資格をとらねばならぬ、受験資格は中學校卒業者、又は同等以上の學力あり、且つ修業年限三ヶ年以上の藥學校を卒業せるもの

明治藥學校、日本藥學校等々が有名である。

此の學校を卒へてから、文部省で檢定試験を受ける、免許狀さへとれば、見習ひ等は要らぬわけである。

### 理髮師の見習助手

理髮師になるには理髮學校に入つて修業し卒業免狀を取るか、又は信用ある理髮師の弟子入りをして修業し、後講習會とか研究會に入つて檢定書とか修業證を貰ふ。

仕事の性質は最初は雑用の追ひ廻し次が頭洗ひ剃刀磨ぎ、顔剃り、バリカン刈り、下刈りと段々進んでコテ、美容術、マツサージ等に及ぶ、器用不器用にもよるが、まづ三ケ年はみつしりかゝらねばならぬ。

就職の資格は尋常小學又は高等小學卒業程度で充分である、接客の商賣であるから、容貌の醜からぬもの、親切で丁寧、綺麗好きの人でなければならぬ。

就職の方法は信用のある技術の巧みな店を探査して、傳手を求めて弟子入りをする、普通の場合では十三四歳から年期を入れ、徴兵検査まで辛棒するもので、愈々年期が明けると、一通りの道具を與へて獨立させるが、當今は凡て文化的になつて、獨立も容易でなくなつた、即ち、先輩に對抗出来る店を開業するには、莫大な資本がかかるので、更に二三年は職人勤めをし、此の間に資金を調達せねばならぬと言つた状態にある。

勤務と収入は一人前の職人となれば別だが、見習中は食費主人持ちで五圓位から十圓位まで年期積立金、其他の方法もあり、公休は月二回、盆と正月の特別休暇だけで、勤務は午前八時から午後十一時までである。

### 町工場の各種徒弟

ブラシ製造、玩具製造、組紐製造、袋物財布の製造、信玄袋靴製造、木屐、齒朶、竹等の諸細工、杞柳籠細工、の手工藝品、木材、金屬、石材、其他の半製工業から、化學原料、電気動力等に據る精製工業等限りがないが、此處では全般的な一例を参考に資する丈にとどめる。

仕事の性質は多種多様、千變一律に論じられないが、半製工業と精製工業、手藝と技術又は業にも述べた如く製造、加工、修繕、組立、仕上げ等に分けて、どの仕事かどの部門に入るかと言ふ事を考へれば、比較的容易に其の仕事の性質を知る事が出来る。

就職の資格は一般商店員、工場徒弟の場合と同様、尋常高等小學卒業程度、身體強健で身元確實なるものと言ふのが共通點である。

就職の方法は募集又は知己の斡旋乃至周旋の方法に従ふ。  
勤務と収入は午前七時から午後十一時まで、町工場の如きは、會社組織の大工場と違つて、

勤務時間は長く、給料は衣食主人持ちで、小使として五圓又は十圓位支給されるわけである、最も二三年経つて熟練して來ると、一圓から一圓五十錢位になる。

### 洋食司廚士の見習

帝國ホテル、精養軒、中央亭、東洋軒、寶亭、燕樂軒、等々が代表的のものであるが、此の司廚士見習即ち西洋料理人の見習ひである。

仕事の性質は洋食の種類を知るわけでも容易でないが、更に其の原料名と量質の採擇調味料理の特別技術を知らねばならぬ、市内に散在するカフェー、バー等と違ひ、此のレストランの仕事は、中々高級なもので、簡単に述べられぬが、要するに西洋料理を作る事で、ラプスタは何うして作る、メンチボールは何うして作ると言つた、理論と實際を會得せねばならぬものである。

就職の資格は格別學問を要求しないが、語學とか科學の部門に於いて要望されるものが、多

いから、中學卒業以上の人がいゝのである。周到緻密で而も機敏迅速が、必要な性能となつてゐるが、そゝかしい人やのろまな人では勿論到底勤まるものではない。

就職の方法は日本司廚士協同會、中央司廚士協同會、東洋司廚士協同會と言つた、仲間の團體があつて、其處で補缺を間髪を容れずに補給してゐるから、募集等に據るものは極めて少い、據つて此の方面に有力な知己を求めて、就職の斡旋をして貰ふのが一番によい。

勤務と收入は一流のレストランは晝夜の交替制もあつて大體十時間労働、本職は勿論別として見習中は衣食先方持ちで十圓から十五圓位までゝある。

### 飲食店の板場見習

前者の司廚士即ちコックとかパーテンダーは、洋食の方の料理人を意味してゐるとすれば、此の板場は和食の方の料理人を意味してゐるもので、東京、京都、大阪、名古屋、神戸、横濱等と言つた大都市は、特に飲食店が多いので、板場の需要も亦此の方面に多い。



仕事の性質は之れも上中下の階級、關東式、關西式の大別から、何々料理、何々流と言つた事で、其の料理の種類も並大抵のものではないが、とにかく専門的の立場から料理をする特殊の職業であるが、此の本職人のする仕事を手傳ひ乍ら、自然と之れを修得するものであるから先づ雑用と考へてゐて差支へはない。

就職の資格は別段何等の資格は要らない、斯うした方面に志を有し、眞に此の技術を修得したいと言ふ堅い決心があればいい。

就職の方法は随時其の店頭や或は新聞案内欄に廣告する事もあれば、又職業紹介所それも多くは私設の周旋所等で求人をするものであるから、凡その當りをつけた料理店に志願をして缺員の機会をねらふか、又は周旋所に依頼して適當な求人先を物色する事である。

勤務と収入は勤務時間は午前八時頃から、午後の十一時頃までが普通であるが、大體に於いて夜の遅い商賣で、ほんとうに仕事にかゝるのは午後の二時頃からで、カン板は十一、二時から午前二時頃までのものもある、尤も一流處では午後十時頃が普通だが、格式が落ちるに従つてカン板(終業時間)も亦遅くなる。

住込衣食費先方持ちで、十圓から十五圓位、本職になると勿論別である。

### 住込の各種事務員

これは工業方面の会社とか、通信社、出版社、雑誌社等、主として小規模で個人經營に近いものが多く採用してゐる。

仕事の性質は此の種に屬する事務員と言ふのは、給仕よりも上、社員よりも下は當然として専門的の部門に従はぬが、其の店なり工場なり會社なりの内部の機密事項にも従へば、外部の方の活動にも従ふ、分りよく言ふと其の主人の家族同様なもので、通勤してゐる給仕や他の事務、工場員、社員等々の動靜を陰に陽に監督しながら、自身また各部門の手傳ひを爲し、全面的に綜括的に手傳つてゐるものであるから、住込の事務員は、其の主人公に取つては最も都合のいい遊軍豫備の戦闘員となる、これは住込事務員の内的事情、特異の立場を述べたものだが表面上の仕事は、やはり一般通勤事務員の程度であつて、特別な職能を發揮せねばならぬと言

ふやうなものではない。

就職の資格 求人者によつて多少異なるが、とにかく住込の事務員であるから、事務員以上の資格は要しない、従つて高等小學校卒業又は中學校卒業程度、家庭の系類等で錯雜した事情が家庭になく、身元が確實であればよいのである。

就職の方法 募集の機会を捕へるか、知人の紹介に據つて就職の斡旋をして貰ふ、履歴書と身元保證書は必要となつてゐる。

勤務と収入 通勤の事務員と違ひ、勤務時間は一定せず又比較的に永い、夜間通學を許すものは、午前八時から午後五時位であるが、通學を許さぬものは午前八時から午後十一時頃まで身體をしばられる、勿論終日働き続けるのではなく、仕事の出来た時だけ働くもので、他は遊んで居られるから、獨學自習の餘地もあれば、外出の機会も相當にある。

給料は景氣、不景氣は勿論、求人先の營業狀態、業務の實際に據つて多少の相違あるも衣食は主人持ちで月給十圓から十五圓位であり、公休は月二回、盆、正月の特別休暇、手當、賞與等も多少つく事になつてゐる。

### 圖案工の見習助手

これは新聞、雑誌等の口繪、廣告の圖案、チラシ廣告の圖案、カタログの圖案、ポスターの圖案等々數多の種類に分れるが、とも角も畫家でもなく看板屋でもない職業で、文案家に對抗する独自の畫工である。

仕事の性質 大體注文者の要求に應じて、或る繪圖を書くものだが、中には其の意匠や構裝一切の考案を依頼されるものもある、とも角も凸版や銅版となつて印刷されるもの、版下を書くものと承知して居れば、一般の畫家其他と區別が出来る。

就職の資格 一人前の圖案家となれば、相當職業教育とか、技術上の資格も必要となるが、見習助手は尋常高等卒業、又は中學卒業程度のもので、繪畫に興味と天分があれば、此の趣味と天分だけは、絶對缺く事の出来ない資格となつてゐる。

就職の方法 趣味や天分を立證する材料を供へ、此の職業に關係ある人の斡旋によつて、缺

員の機会を優先的に捕へる事である。

勤務と収入は時間も不定、収入も不定、仕事の量と質によつて相違が出来るが、衣食先方持ちで、十圓から十五圓、少しく成績のよいものは二十圓から三十圓位になる。

附||東京では京橋の島丹誠堂が有名であるが、其他に何々圖案社と言つたものが數へ知れぬ程あるから新聞、雜誌、出版等に關係する人に万事相談すればよい。

尙最近は大新聞社、大雜誌社、通信社、廣告取次店から、工場、會社、商店等の一流處になると廣告部、企畫部、宣傳部等と言ふのがあつて、此處に專屬の圖案家を備入れて居るから、斯した方面の助手を志すのも一つの有効な方法である。

## 看板工の見習徒弟

これは其の字の通り看板屋で、ペンキ塗工に似てゐるが、文字、圖案意匠を専門とする處が相違して居り、又、書いたものそのまゝが、直接公衆の知見に供へられる處に、前記の圖案家との相違がある、近頃は宣傳部、裝飾部等と言ふものも追加され、往時の看板屋よりは遙かに

職業領域が廣くなつてゐるから、此の點を特に銘記せねばならぬ。

仕事の性質||圖案家は用紙の上に文字なり、圖案を現はすので、細密な筆先の技術にとゞまらるが、之れは木材(削り板)金屬(トタン)布片れ其他にかなり大きなものを書く外、色彩が様々となつて居り、又前記の如く宣傳と裝飾と言つた、有機的な働きも伴つてゆくから、申々困難しい仕事である。

就職の資格||學力尋常高等か中學校卒業程度、身體は最も強健にして、文字繪畫共に巧みな事、美術的の趣味天分を兼ねること等が、其の要求される資格になつてゐる。

就職の方法||募集又は紹介に據る、二年、乃至三ヶ年の年期を入れて、半勞働と雜用に從ふ事を覺悟せねばならぬ。

勤務と収入||一定の極りなし、見習中は衣食主人持にて十圓から十五圓位、少しく熟練すれば二十圓から二十五圓位になる。

## 派出の事務と労働

これは女子の看護婦派出、家政婦派出、事務手傳派出等と言つたものに似てゐる。この部類に入るものは筆耕、正寫、製圖、翻譯、謄寫（以上事務）發送、荷造、配達、訪問、辨達、ピラ配り以上労働で、仕事の性質は説明するまでもない、これは極最近出來た新職業で、之れに類似したものは、帝大、商大、外語等の苦學生共濟會等がそれであるが、民間では文圖案社、筆耕屋、代辨社、用達社等がそれである。

就職資格 一定の規格はない、以上のどれかに該当する職能を持つてゐる事が何よりであるから、特殊の職業に加へなければならぬ節もあるが、近來中學出の人がかなり澤山斯うした方面に従事してゐるので此の項に加へた。

就職の方法 先づ以上にかゝげた民間の企業者が、全體何處にあるかを調査した上、之れを尋ね自己の希望する處を披瀝して、直接採用して貰ふ事である。

勤務と収入 時間も収入も其の仕事の性質で不動である、大體に於いて本人の實際働きに準ずるもので、抱主は最小限度の食費と、一割乃至二割の頭をはねる事になつてゐる。

## 第三章 努力に據る就職

### 陸海軍廠の少年工員

陸軍砲兵工廠、海軍造兵廠、陸軍兵器本廠等の従業員で、少青年の外、女子工員も全國で二万近くも居り、軍備縮少前は四万からの女子が従事してゐた程であるから、敢て諸君達にとつて至難な労働ではない。

仕事の性質 機械磨き、銃床磨き、銃丸磨き其他職工の各手傳ひ労働で、範圍も擴く、種類も非常に多いが、専門者でなくても充分に間に合はされるものである。

就職の資格 尋常又は高等卒業程度、年齢は満十四歳以上となつて居り、身體さへ強健であれば、其他の資格は確實な身元保証人丈けである。

就職の方法 随時に募集したり、缺員を補充したりするから、廠内に知己を求めて就職の斡旋して貰ふか、自身が直接志願して、志願書と履歴書を出して措けばよい。

勤務と収入 午前八時から午後五時まで、凡て通勤である、初任給は日給で、七八十銭から段々昇給して一圓五六十銭位までになる。

日給の高い安いは、勤続年限よりも仕事の種類に據るもので、難儀な仕事工程賃は高くなつて来る、又作業服等は何れも自費で、日曜祭日は休みとなるが、此の日の日給は支給されない事になつてゐる、然し此處の本職工は頗るよい待遇をされる。

### 印刷局の見習工員

職工と女工の間に立つて、此の中間の勞作に従ふもので、仕事も非常に進歩的な組織機構の

中に進められ、割合に小綺麗な仕事である。

仕事の性質 官報其他印刷物の製本や、活版の手傳ひ、紙幣や郵便切手、公債證書等の量質の検査等々多方面に分けられる。

就職の資格 尋常小學校卒業者にして、満十四歳以上の者で、身體強健、身元確實なもので適當な紹介者があればよい。

就職の方法 出願者は印刷局の庶務課に採用申込み書があるから、それに指定通り記して、履歴書と戸籍謄本とを添へて出し、最も簡單なる常識試験を受け、それに級第すればよいのである、所在地は東京麹町區大手町の東京印刷局である。

勤務と収入 午前八時から午後五時まで夜勤は別、約八時間労働、初任給は日給八十銭位から段々昇つて一圓五十銭位までになる。

尙早出や居残りには一時間毎に日給の一分、夜業には同一四分を給與される。

### 化粧品工場の職工手傳

東京では花王石鹼工場（府下吾妻町）ライオン齒磨工場（同町及本所外手町）三ツ輪化粧品工場（神田柳原町）ライオン石鹼工場（本所向島）等々、大阪ではクラブ化粧品の中山太陽堂桃谷化粧品工場其他各都市に販賣されてゐる、有名品の工場を探せば枚舉されぬ程澤山ある。

仕事の性質は主として職工の手傳で、原料方面、製造方面、加工方面、等々であるが、女工の擔任する意匠と表装方面の仕事、例へば瓶や罐に詰めたり、袋に入れたり、ボール函に入れたり、ペーパーを貼つたりする方面にもやはり男工を採用してゐる。

就職の資格は尋常高等小學校卒業程度、身體の强健なもので、身元確實なものである。

就職の方法は随時募集し、又缺員の補充をやつてゐるから、志願書と履歴書を出し、募集や補充の機會を捕へると、簡単な口頭試験だけで、大體採用される事になつてゐる。

勤務と収入は午前七時から午後五時まで、正味九時間が定時の勤務で、別に夜業もある職工たり、ペーパーを貼つたりする方面にもやはり男工を採用してゐる。

見習の名義で採用され、初任給は日給で七十錢以上、漸次昇給して一圓四五十錢までには進められる、年二回の賞與金と各工場に據つて修養、休養、購買等の恩典があり、大同小異のものとなつてゐる。

### 製菓會社の職工手傳

明治製菓會社、森永製菓會社、東洋製菓會社、日本製菓會社等が代表的なもので、殊に明治森永は全國的に工場があるから、東京、大阪、兵庫、静岡、佐賀、北海道何處でも就職出来る

仕事の性質はやはり職工の手傳ひで、原料加工、製造、包装、發送等が主なる仕事の部門となつて居り、女工達を補佐して菓子を包んだり、箱入れをしたり、ペーパーを貼つたり、數を計算したりする事から漸次進めて、職工の手傳ひに採用される。

就職の資格は尋常高等小學校卒業以上、身體の强健なるもの、身元の確實なもの、一般工場の場合と大差はない。

就職の方法は時々募集廣告を出し、又缺員の募集をする、それで斯した機会を捕へ知己に頼んで申込んでよし、又自身直接に申込んでもし、官公署の工場程嚴重ではないから、就職の手續は至極簡單なものである。

勤務と収入は有名な處は勿論通勤であるが、中小以下には住込みのものが大部ある、午前七時頃から午後五時までが定時間、夜業する處もあり夜業する場合もある、日給で初任給が七十錢位から一圓七八十錢までに上り、純職工になると二圓五六十錢以上になる。

此の外夜業手当、勤勉手当あり、年二期の賞與や特別な恩典等が夫々自由な立場で作られてゐるが、大低似たり寄つたりである。

## 印刷所の職工見習

文化の進展と共に逐年増加してゆく、東京では秀英舎、共同印刷、日清印刷、築地活版、博文館等が代表的であるが、中小の印刷工場が之れ亦どれ程澤山あるか知れない。

仕事の性質は文選、植字となれば一人前の職工となるが、此の一人前になるまでは、解版とか雑用で追ひ使はれねばならぬ。

今印刷所の仕事を参考に述べやう。

(1) 文選 (採字とも言ふ) 原稿に依つて、文字を一字宛拾つてゆく、これは活字を収めてあるケースの前に立つて、ステツキ (ゲラ箱) に原稿通りの文章を拾ふので、漢字の調音を知り、其の収めてあるケースの所在と、文字の所在を知らねばならぬから、一年や二年では一人前の職工にはなれぬ。

(2) 植字 字間、行間、天地、間隔、段落等、色々な體裁を作り、それがそつくり印刷されて役をなす線に、一面、一頁宛を完成させてゆく仕事で、これ又立派に獨立した職業である。

(3) 解版 印刷してしまひば、その組版は不用となり解版されて了ふ、つまり何時までもそのままにしておけないから、今度は一號活字は一號、二號活字は二號、三號は三號、數字は數字、假名は假名と選り分けてしまふ事である。

(4) 返版 (一名假名返しとも言ふ) 此の解版して選り分けた活字をもとのケースの中に夫々返してゆくの、これも文撰と同様の技術が必要である。

即ち以上のやうな仕事をするまでの見習ひで、始めは解版と言ふ事を多くさせられる、これ

は初めてのものでも、大して困難なものでない、活字の號數と種類さへ飲み込んで居れば誰でも出来るから、女工が多く斯うした事を受持たされてゐるが、活版工になられる諸君は、又女工諸君と同じやうな事も最初はやらせられるのである。

就職の資格 高等小學校卒業程度、又は中學校卒業程度何れでもよろしい、文字を知り文章に興味を有し、根氣の強い人で、物に嫌きない、頭腦が緻密で、手先きが器用ならば申分はないが、別にそうした困難な條件をつけると言ふ事はない。

就職の方法 募集に據る事もあるが、知己を求めて斡旋を頼むのが一番によい。

勤務と収入 勤務時間は一定してないが、定時間では他の職工と變りなく午前八時から午後五時まで、交替制とか夜業制とか言ふものは新聞社とか雑誌社、大工場等によつて色々違ひがある、初任給は日給で八十錢位から一圓二三十錢まで、一人前になると二圓から四、五圓までにはなる。

尙鑄造部のある處では、活字を鑄造したり、此の活字の仕上げをしたりする様な仕事もする

### 製本所の見習徒弟

之れも印刷の進歩に伴つて、年々遞増を見せてゐる仕事で、美術的な仕事で興味も多く獨立の職業となれば大したものである。

仕事の性質 紙敷へ、紙折り、紙綴り、糊付け、金箔付け、斷裁、乾燥等色々變つた仕事があるが、比較的容易に知悉されるもので、熟練如何が何よりの努力となる。

就職の資格 尋常小學校卒業、高等小學校卒業程度でいい。

就職の方法 知己の斡旋が一番よく募集、志願其他の方法もある。

勤務と収入 致細に述べると色々變つて来るが、大體に於いて日給六、七十錢から一圓二、三十錢位までと思へば大差ない。

職別に言ふと紙折り賃、裁斷賃、等々の標準額が出来てゐるからで、例へば紙折りの請負であれば、普通菊版(幅二尺一寸長さ三尺一寸)のものを十六に折ると、普通の雑誌の大きさにな



る)これが千部で二十銭、普通の早さの人で、五千部から八千部、即ち一圓から一圓五六十銭と言つた具合である。

### 造幣局の工員見習

東京の印刷局(紙幣)に對峙して大阪には造幣局(貨幣)がある、紙幣を作る工場に對する貨幣を作る工場であるから、兄弟姉妹の工場で、曩に述べた印刷局の場合と大差はない。

仕事の性質 本工員となれば、勿論専門的な技術を必要とするが、見習工員は出来上りの貨幣を検査したり、計算をしたり、箱へ入れたりするもので、女工員と殆ど同じやうな事をするものである。

就職の資格 尋常高等卒業程度、身體強健で身元確實なるもの、頭腦綿密、算數に巧みで、手先の器用なこと等が主なる資格である。

就職の方法 募集もあるが、紹介なり推薦なり、知己に斡旋を頼むが一番である。

勤務と收入 印刷局の場合と殆ど同じ、従来と違つて色々待遇が改善され、頗る氣持のいい仕事となつてゐる。

### 鐵道工場の職工手傳

關東では東京の錦糸堀工場、大井の大井工場、大宮の大宮工場等が代表的なもので、全國樞要の地には必ずある。

仕事の性質 鐵道省の工作局に直屬し、汽車や電車の車臺(客貨車)附屬品、部分品等を製作したり修繕をしたりするもので、鍛冶工場、旋盤工場、仕上工場、木工場、組立工場、鑄物工場、塗工場、電気工場、其他色々な部門に分れるが、何れも各工場に於ける職工の手傳ひをするものである。

就職の資格 尋常高等小學卒業で結構、中學とか工手學校程度の人、より以上便宜がある身體が強健で、技術的天分があれば中分がない、體格検査に重きを置き、鐵道病院で體格検査

をする事になつてゐる。

就職の方法 隨時募集や補缺をやつてゐるが、知己の紹介か斡旋を頼むのが多い。  
勤務と収入 定時、夜勤、請負とあるが、大體に於いて午前七時から午後五時、夜間に通學が出来る、初任給は日給で八十錢以上一圓四五十錢、手當もあれば賞與もあり、購買、治療、休養、鐵道パス色々の特典があり、待遇は百パーセント總體の収入も極めて大きい。

### 紡織工場の見習工

全國到る處に大小幾多の工場があるが、大部分は女工の領域となつてゐる、然し男工の領域も嚴然として存立してゐるから、必ずしも絶望ではない。  
仕事の性質 機械の操縦に據る技術で、絶えず耳と眼と手を働かせねばならぬ。  
就職の資格 尋常高等小學卒業程度  
就職の方法 募集又は紹介に據る。

勤務と収入 初任給は日給で七八十錢から二圓五六十錢位まで、請負制度で何ヤール織れば幾らと言ふのもある。

寄宿舍に住ひ食費は低廉、色々な待遇法が講ぜられてゐる。

### 製藥會社の職場員

星製藥會社、三共製藥會社、日本製藥會社を始めとして、有名な賣藥品の本舗を尋ねると、其の製造工場も夥しい數に上る。  
仕事の性質 原料、調劑、製造、包装、色々な部門に分れるが、始めは瓶や罐に薬を詰めたリ、袋詰めをしたり、紙包みをしたり、ペーパー貼りをしたり、箱詰めをしたりさせられるが調劑、調製、調製へと進むと、立派な社員として本俸を給される。

就職の資格 尋常高等卒業又は中學卒業程度、體格と性能に重きを置き、實直、誠意、濃厚と言つた性能の査定が重心をなす。

就職の方法 〓 募集又は紹介、適当な知己に就職の斡旋をして貰ふ事が一番よい。  
 勤務と収入 〓 勤務時間は一般工場と大差なく、収入は各會社によつて多少の相違はあるが、  
 最初三ヶ月間を見習ひとして日給九十錢以上を給與し、其の後工員として一圓から一圓五十錢  
 位まで支給される、作業服と手當が二十圓位、成績のいい人は職員となり月給となる。

### 電氣工場の職員見習

芝浦電氣、沖電氣を始めモートル、扇風機、蓄電池、コード、電球與他、知名の製品工場を  
 尋ねると、これ又幾多數へ切れぬ程の夥しい種類と數が擧げられる。  
 仕事の性質 〓 職工の手傳ひで、雑用に追ひ廻されながら、専門的の技術を教へられる。  
 就職の資格 〓 尋常高等卒業で充分、定時間以後は工手とか工業の夜學へ通つて、職業教育を  
 補足すればよい。  
 就職の方法 〓 各工場の場合と同様。

勤務と収入 〓 初給は日給で一圓以上一圓八九十錢まで、比較的待遇はよく、手當、賞與其他  
 色々な恩典がつく、此の電氣事業は、他の工場勤めと對比すると、前途頗る有望で出世の途が  
 多方面に拓かれる。

### メリヤス工場の職工手傳

東京、大阪には無數の工場がある、比較的小資本で出来る職業であるから、見習から職工と  
 なり、職工から獨立して工場主となる人が非常に澤山ある。  
 仕事の性質 〓 縦織と横織とあり、何れも機械の操作に據る技術で、毛絲を使用し、シャツ、  
 スエーター、胴巻、サルマタ、都腰巻等を作る、三四ヶ月位みつしり教練されると、どうにか  
 一人歩きが出来るやうになる。  
 女子は絲巻きだけで、織り方は男がする、ミシンと違つて、メリヤスは男の方がどうしても  
 旨いからである。

就職の資格 尋常高等卒業程度で充分である、堅忍不拔、熱心篤實、周到緻密と言つた性能があれば後は熟練に據つて自然上達する。

就職の方法 大きな處は募集もするが、他は新聞案内欄等で時々補缺をする位であるが、其他此方面の傳手を求めて就職の斡旋をして貰へば、工場の數が多いのであるから、さして就職は難事ではない。

勤務と収入 勤務時間は他の一般工場と大差なく、夜業ある時は別として、普通は九時間労働、初任給は八九十錢から一圓五六十錢、本職となれば二圓から五圓位になる。

### セルロイド工場の見習工

此の應用の範圍は非常に廣いが、一番初心者に好適なものは、セルロイド玩具の製造で、現在では木製玩具、金屬玩具を凌ぎ、國內の需要ばかりか、歐米諸外國に輸出され、前途頗る好望なものである。

仕事の性質 セルロイド板を仕入れ、適宜の玩具型に入れて、火にかけて作るもので仕上げ以外は凡て男でなければならぬもの故、男子の領域は嚴然として動かない。

就職の資格 尋常高等卒業程度で充分、器用な事も大切だが、應用の才幹が極めて必要であり、美術的の性能があればより好都合である。

就職の方法 知名なセルロイド工場なら尙更結構だが、中小の工場でも差支へはない。募集や補缺の機會を捕へる外、知己を通ずるなり、又自身で直接志願して運動をする。何等採用上の規格がないから、缺員さへあれば何時でも採用される。

勤務と収入 勤務時間は一般の工場と大差なく、収入も同様である、初任給は日給で、(型抜き)の請負になると、一日少い人で一圓、腕のよい人は二圓五六十錢位になる。

### 飛行機製作工場の職工見習

新しい國防時代が再來して、此の事業は益々有望なものとなり、現在三菱航空機製作所、石

川島飛行機製作所、中島飛行機株式会社、日本光學工業株式会社、愛知時計株式會社其他組立ヤボデー、部分品等をあげるとかなりにあるが、何れも晝夜兼行、不景氣知らずである。

仕事の性質 科學兵器の構造學に従つた、最も進歩的な専門職業ではあるが、部分品の製作組立、仕上げ其他何れも本職の雜用を手傳ひ乍ら、自然的に會得されるものであるから、別段至難視する處はない。

就職の資格 高等小學卒業、中學卒業で充分で工手學校、工業學校、電氣學校等の出身なれば、より以上に好都合であると言へる。

就職の方法 學校長又は此の方面の有力な知己から推薦して貰ひ、簡単な性能試験に及第する事が必要となつてゐる。

勤務と収入 目下非常に多望を極め、晝夜交替又は請負制度でやつてゐる處もあるが定時は午前七時から午後五時までの九時間労働、初任給は日給で、一圓から一圓五十錢位で漸次昇給する、本職となると少い人で百五十圓から二百圓、多い人は二百圓から三百圓まで、現下の工業方面では主座を占めてゐる。

### 飲食料品製造工場職工手傳

之れも和洋酒、麥酒、清凉飲料、罐詰、調味料、到底例舉する事が出来ない程種類が多く、其の歸趣にも迷ふが、過去のものより將來のものに目をつける事が大切である。

仕事の性質 以上の如く種類が多く、其の製造技術も夫々異つてゐるから、一々これを説明する事が出来ないが、部門を大別するとやはり原料、調味、製造、試験、加工、精製、包装、發送等になるが、何れも本職の雜用を手傳ひながら自然的に會得される。

就職の資格 高等小學、中學卒業程度、身體強健で身元確實、種類によつてはかなりの勞働力に堪へ得られる人でなければならぬ。

就職の方法 學校長、又は有力なる人の紹介、斯業關係者の斡旋に據らねばならず、簡単な人物や性能の試験も受けねばならぬ。

勤務と収入 一般の工場と大差はない。

## 人夫土工其他の純労働

これは一寸聴くと失業者、敗惨の人の如く考へられるが、將來土木建築請負業として世に立ちたいと言ふ人であれば、寧ろ若い時から斯うした社會に飛び込んで、血惨的な、筋肉労働の體驗を積み重ねねばならぬ。

現に東京、大阪で成功をしてゐる請負業者の大部分は、何れも幼少から右の如き苦肉の體驗を重ねて來た人達である。

仕事の性質 土木建築請負と一口に言つて了ふが、ほんとうは土木と建築は全く性質が違つてゐる、土木とは鐵道の建設改良、橋梁の架設、河川の改修、道路の新設改造及舗装、港灣の修築、運河の開鑿、土地の開墾埋立、隧道の掘鑿、土盛地均工事、等々で範圍が非常に廣く、此の方面の設計は土木士所謂土木技師で土木協會に隸屬してゐる、建築はビルディング、デパート、ホテル、學校、工場、諸官廳、役所、銀行、會社、警察、病院、住宅、邸宅、店舗等々

の家屋を建築するもので、此の方面の設計は建築士、即ち建築技師がするもので、建築協會に隸屬して居る、従つて土木請負、建築請負は別々だが、兼業してゐる人が土木建築請負と言ふので、建築が主でも多少の土木土盛、地均、幼稚な基礎工事等を兼ねてゐる處から斯く呼び東京ならば東京土木建築請負業組合とか、日本土木建築請負業者聯合會とかに加盟してゐる。

以上は専門的の職業だが、之れ等の下廻り雑用の手傳ひをしようと云ふ事で、始めは人夫とか土工と言つて至極簡單なもの、之れは體力さへ許せば誰れでも出来るものである。

就職の資格 學力は格別問はぬ、身體さへ強健で労働に堪へればよろしい。

就職の方法 異體の知れぬ努力請負等に飛び込む人は、事實失業者か敗残者が多いのであつて、相當の身寄り身元保證があり眞剣に此の業界の人として將來成功したいと言ふのであれば筆者はとくに此の方面と關係が深いのであるから、就職の斡旋をしてもいい、又自身でされるならば、なるべく相當の營業基礎と信用ある請負業の、何々組の配下に加へて貰ひ、常時雑用にかかけ廻り、又なるべく現場の實務に當らして貰ふ事が大切である。

とにかく他の色々な工場の職工見習とか手傳ひ等と違つて、此の方は純然たる労働となるか

ら其の決心と努力は容易ならぬものと承知され度い。

勤務と収入は住込みもあり通ひもあり、時間は凡て不定、収入も不定、但し一廉の労働に堪へれば、日給一圓五六十錢から三四圓はとられる事になり、親方からは一割以上の頭をはねられる事になつてゐる。

### 苦學生の住込労働

これは新聞配達、牛乳配達、新聞發送員、辨當配達、新聞勧誘員、紙芝居、納豆賣、新聞賣子、支那蕎麥賣子、自動車運轉助手等々色々あるが、要するに身體強健で、堅忍不拔、克く労働に堪へればいゝもので、格別資格を要求しないから、學術やテストの試験等勿論必要なく、仕事の性質は常に目撃する處で横説の要なく、就職の方法は随時の募集に據る、多少の相違はあるが、食費先方持ちで十五圓から二十圓位と見ればよく、月給を三十圓とすれば食料十二、三圓位は引かれるものである。

後編  
附録

### 實業界の代表的採用方針と待遇法

### 三井系の採用方針と待遇

三井では合名會社、銀行、物産、鑛山、信託、生命保險、倉庫其他に分れ、個々別々な採用方針を採つてゐる、其の共通する處は人格、頭腦、健康で、其他風采、態度、言語等も極めて重要なものになつてゐる。

學術 || 筆績 || 作文 || 珠算 || 簿記 || 語學等が最も重きを措かれる。

テスト || 常識と性能が中心をなす。

收入 || 官私大出身、商大、神高の初任給が本俸五十圓、割増三十圓計八十圓、地方高商、

本俸四十圓、割増二十四圓計六十四圓、甲種商業本俸二十五圓、割増十五圓計四十圓

待遇法 || 昇給 || 賞與 || 勤務手當 || 特別賞與 || 缺勤規定、兵役規定 || 休職規定 || 積立金規定 ||

退職慰勞金 || 恩給 || 與規程 || 旅費規程 || 在勤手當規定 || 其の他省略



### 三菱系の採用方針と待遇

三菱では銀行、信託、造船、鑛業、商事、海上火災保険、製鐵、電機、倉庫其他に多少の相違した方針を採つてゐるが、三井系と異り原則として凡て統一的である。

健康—人物—性格—其他三井と略同様のものを要望する。

學術—三井と同様筆記試験はしない、其の代りに學中の全成績、第一學年から最終學年までの成績を致細に査定する。

テスト—會話の方法に據り、對談中に人物、人格、智能、健康、精神、感情等を査定する。

收入—専門學校以上を正員とし、採用後六ヶ月は見習、此の間私大専門部は月額五十圓より六十圓、地方高商及私大々學部は六十五圓より七十圓、商大、慶大、早大、神商は七十五圓、帝大は八十圓より九十圓までである。

待遇法—昇給—缺勤規定—休暇規定—兵役規定—治療規定—弔祭規定—退職慰勞金規定—恩給規定—旅費規定—赴任規定—在勤手當規定—請假歸朝規定—社宅規定—勤儉預金—共済預金—其他省略

### 安田系の採用方針と待遇

安田系では安田信託、安田商事、東京建物、帝國製麻、安田銀行、第三銀行、晝夜銀行、安田貯蓄、安田生命、東京火災、安田保険、運送火災等に分れるが、採用は凡て統一的である、従來は所謂丁稚小僧から仕上げる方針から、尋常高等、甲種商業が大部分であつたが、現在では三井、三菱と同様になつた。

學術—在學中の成績證明によつて査定し、筆記試験には重きを置かず、筆蹟、算盤、作文、簿記、語學等を重視してゐる。

テスト—頗る嚴重であるが、感じのよい人、上品な人、落着きある人、を選ぶのが、大體の目標で、私心なく明るい人—誠意熱直な人—責任感の強い人—意志鞏固な人—心のバランスが

とれてる人―事の輕重を問はない人と云つた方面に目をかけてゐる。

收。入。帝大は初任給月俸七十圓以上、私大は同上六十圓以上、同專門部五十圓以上、甲種商業及中學卒業は同三十圓以上

待遇法。三井、三菱と大同小異故省略する

### 住友系の採用方針と待遇

住友には伸銅、鋼管、製鋼、電線、銅山を始め銀行、信託、生命保險、炭礦、水電、倉庫其他これまた多様に分けられるが、万事は東京の三菱と類似し、一切統一的な方針のもとに採用するもので、凡て住友合資で一括的に試験し各會社に配屬する。  
學術。學術成績は推薦して來た學校當局を信頼し、學術試験は全然行はぬ。  
テスト。面會に據る人物考査で、才識とか手腕とかを望まず、どつしりした底力のある人上品な人、感じのよい人、落着きのある人等を目標にしてゐる。

收。入。初任給は月給で帝大、商大が八十圓、神商、商大が七十圓、早大、慶大、明治が六十圓、甲種商業及中學が三十五圓、高等小學が十八圓以上となつてゐる。

待遇法。昇給―賞與―積立金―休職―退職―慰勞金―停年―旅費給與―其他省略

### 古河系の採用方針と待遇

古河の事業は前記各者に遜色ある事は勿論であるが、足尾銅山以下事業の中心は鑛業であり電氣工業で、之れに關連した商工會社もあり銀行もあるが、古河鑛業、古河電氣が代表的なものである、特に變つてゐる處は學歷に重きを置かず、徴兵検査に合格して軍人生活の経験あるものを歓迎してゐる事である。

これは身體が健康、體格が立派と言ふばかりでなく、兵營生活の経験あるものは、規律、節制、服従等の美德を具へ、職工や勞働者と共に、團體的仕事をなすに都合がよいからで仕事の特異性に據つたものである。

收 入。新に採用したる者は六ヶ月以内を見習員として指導者を付し、本人の性行―技能―勤務―其他を記載したる指導者の調書を添付して申請し、六級以上の職員に採用するもので、七十五圓以上となつてゐる。

### 海運界の採用方針と待遇

日本郵船―大阪商船―山下汽船―其他

何れも大同小異であるから一括して述べる第一は健康、第二は智能、第三は性能、で一般の會社と大差はないが、此の海運界で望む人物は常識が圓滿で、誠意熱直、確固たる信念を以て活動的精神に富み、而も機敏で快活な人物を要望してゐる。  
學 術。學校の成績證と履歷書を信用し、特殊のもの以外は筆記、口述等に重きを置かぬ。  
テ。スト。これは非常に嚴密であるが、協調の精神―處世の信條―責任の觀念―等に重きを置くものである。

收 入。日本郵船) 此の初任給は帝大と商科が八十圓、商大専門部七十圓、私大(早慶明) 地方高商六十圓、其他の私大五十圓、甲種商業及中學三十圓、事務員、初任給の第一回昇給五圓内外、中學出、初任者の昇給は年二回三圓、賞與一般社員二ヶ月、高級社員五ヶ月又は六ヶ月分、其他略  
同 上。 (大阪商船) 此の初任給帝大、商大七十圓、専門學校六十圓、甲種商業及中學三十五圓、昇給月俸九十圓以下年一回三圓以上五圓まで、九十圓以上、年一回十圓程度賞與大體二ヶ月分、高級社員は割増其他略  
同 上。 (山下商船) 此の初任給は帝大及商大六十五圓、早慶大六十圓、地方高商五十二圓、甲種商業三十圓、昇給其他略

### 保險界の採用方針と待遇

生命保險―火災保險―海上保險―傷害保險―陸上運送保險―信用保險―其他

右保險會社の社員又は使用人は、内勤と外勤の二つに分けられるが、大部分は外勤で、最初の二ヶ月又は三ヶ月は募集に關する知識を授け、然る後外交をやらせる。

共通的な採用方針は(1)健康、(2)風采、(3)言語、(4)態度、(5)應對と言つた人物中心主義で、算數理以外學術にはさして重きを措かず、テストに重きを措く之れは辛棒強く、隱忍持久の精神に富み、而も明朗快活、樂天的な人と言ふ點にある。

收入(帝國生命) 初任帝大、商大七十五圓、早大、慶大六十五圓、専門學校五十圓甲種商業五十五圓、昇給月俸百圓まで年一回で三圓から十圓まで、月俸百圓以上二年毎に一回で七圓から二十圓まで、月俸二百圓以上三年に一回で十圓以上其他省略。

同上(第一相互) 初任給帝大、商大七十五圓、私大六十五圓、専門學校六十五圓、甲種商業三十圓、昇給年一回七圓から十圓まで、但し外部は不定、其他省略  
其他の保險會社も殆ど同様故省略する

### 銀行界の採用方針と待遇

日本銀行、勸業銀行、農工銀行等の特殊銀行から第一銀行、川崎第百銀行、三十四銀行、山口銀行、不動貯金銀行等々の一般銀行と多種多様であり、其の採用方針も夫々異つたものがあるが、爰には全般的、共通的のものを述べる。三十四銀行其他學術に重きを措くものもあるが、大體に於いて學術よりもテストに重きを置かれてゐる、順序としては健康—學術—テストで左の如きものが共通點となる。

學術 各學年の成績を通過して考查する、席次は三分の一以上又は五分の二以上で、それ以下は絶対に採用しない、學校長の推薦に據るものから詮衡するが、緣故關係、情實等は殆ど排撃するのが今日の實狀である。

テスト 容貌の醜からぬ事が第一條件、思想の堅實なる事が第二條件、品行方正なる事が第三條件、意志の堅固なる事が第四條件、周到緻密なる事が第五條件、而して常識と性能のテスト